手書き業務支援システム

Handwriting Data Collection and Conversion System

(HCC)

Professional

取扱説明書

（02.00.00.1121）

目次

はじめに

Handwriting Data Collection and Conversion System とは

本アプリケーションソフト（以下「HCC」）は、自分で作成・設定したフォームに、デジタルノートパッドで書き込んだ情報を CSV ファイルにコンバートすることが出来ます。

システム必要条件

パソコン環境	Intel　Pentium4　2GHz 以上の CPU
	1024ｘ768 以上の表示が可能なディスプレイ
	USB コネクタを備えた PC/AT 互換機
対応 OS	Windows VISTA / XP
対応デジタルノートパッド	Technote　TN-A401（A4 対応）/ TN-A501（A5 対応）

内容物

- Technote 本体
- デジタルインクペン　黒・赤・青×各 1 本
- 本体用単 4 アルカリ電池×4 本
- デジタルインクペン用ボタン電池(PR48)×3 個
- USB ケーブル タイプ A オス-mini B オス(ケーブル長：1.0m)
- オリジナルメモ帳
- キャリングケース
- HCC ソフトウェア CD-ROM×1 枚
- HCC 取扱説明書
- デジタルインクペン用替え芯黒・赤・青×各 1 本
- 本体電池カバー固定用ネジ・ドライバー×1 セット

商標情報

“ Technote ” および “ TN-A501 / TN-A401 ” は有限会社海連、スリーエーシステムズ有限会社、ポトス株式会社の登録商標です。
“ Microsoft ” と “ Windows ” はマイクロソフト株式会社の登録商標です。
“ Pentium ” はインテル株式会社の登録商標です。
“ Adobe ” と “ Acrobat ” はアドビ・システムズの登録商標です。
　他のすべての商標はそれぞれの所有者が保持する商標です。

製品のサポート

有限会社　海連　ユーザーサポート係

住所：　　　〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町 11-1

※操作に関してのお問合せは、問合せ専用メールアドレスでお受けいたします。お問合せには平日 24 時間以内にご回答申し上げます。

e-mail：　　　support@kairen.co.jp

サポート時間：　10:30〜18:30　（土・日曜日、祝祭日を除く）

注：このマニュアルの中で言及された仕様書は予告なしに変更の対象です。

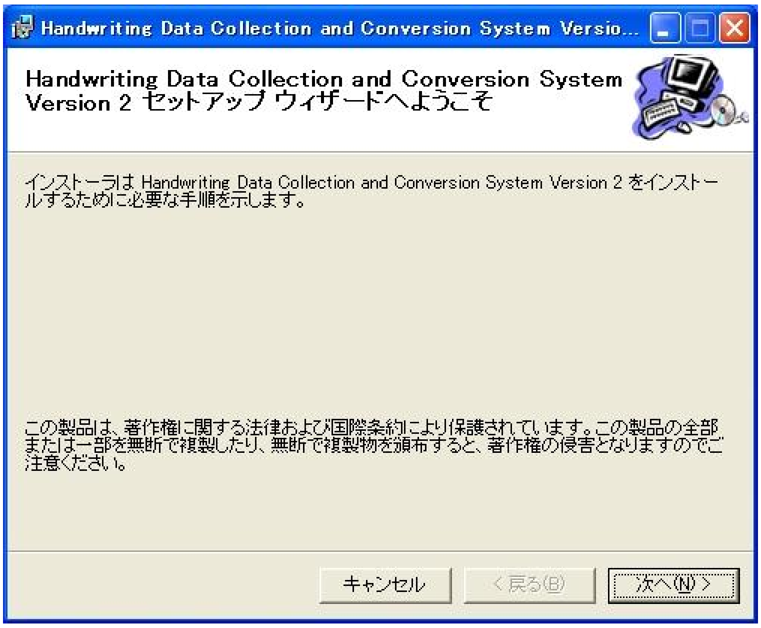
ソフトウェアのインストール

※必ず管理者（Administrator）権限にてインストールを行ってください。

・アプリケーション CD を CD-ROM ドライブのトレイに挿入する

アプリケーション CD の内容が自動的に読み込まれて「セットアップウィザード」が起動します。

表示された内容を確認して[次へ（N）＞]をクリックします。



・HCC のインストール先を指定します。

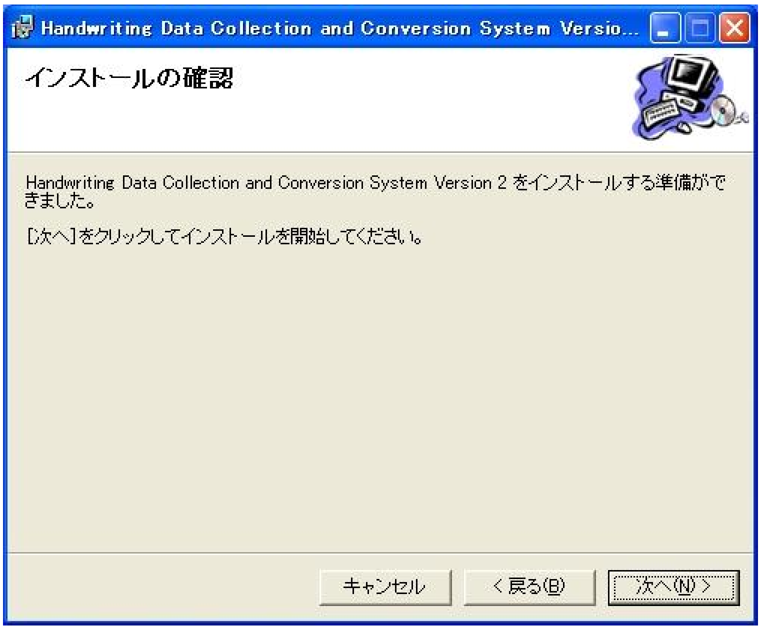
デフォルトのインストール先は、「C:¥Program Files¥KAIREN¥HCC¥」になります。インストール先を変更する場合は[参照（R）]をクリックして、インストールするフォルダを選択します。



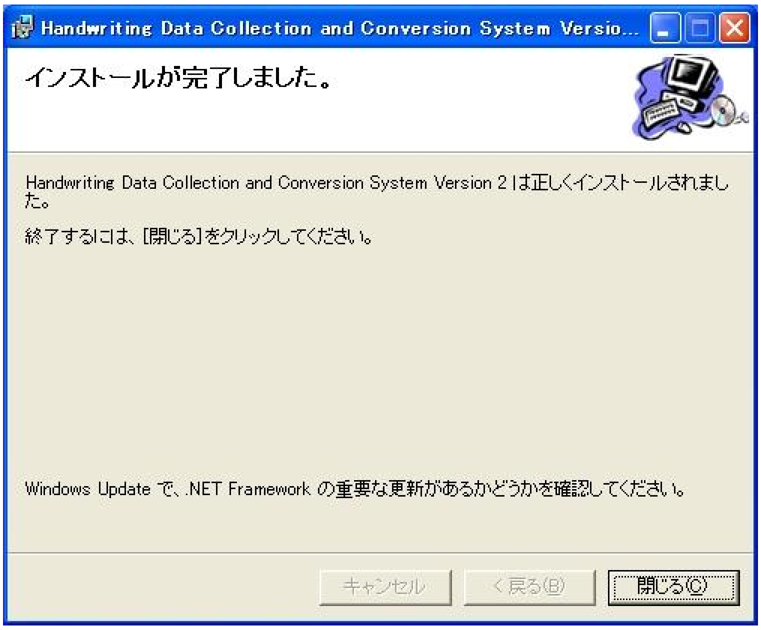
※使用するユーザーにチェックを入れてください。

・インストールの確認

表示された内容を確認して[次へ（N）＞]をクリックします。



・インストールの完了
自動的にインストールが完了し、メッセージが表示されます。
表示された内容を確認して[閉じる（C）]をクリックします。



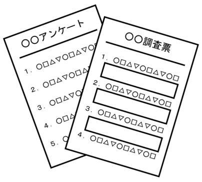
※正規版をご購入いただいたお客様は、メインメニューからシリアル番号の入力を行ってください。
※インストールから 90 日経過した後、シリアル番号の入力を行わないと本プログラムを起動することが出来なくなります。

●注意事項
・本ソフトウェアのインストールは、必ず管理者（Administrator）権限にて実行してください。
・本ソフトウェアのインストール前に、Windows のアップデートを行っておいてください。

・ご利用いただくパソコンに Microsoft NET Framework 2.0 がインストールされていないときは、HCC のインストールと同時に Microsoft NET Framework 2.0 もインストールされます。

・Microsoft NET Framework 2.0 をインストールした場合は、本ソフトウェアを起動する前に Windows のアップデートを行に Service Pack や修正プログラムをアップしておいてください。

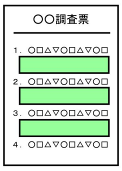
第 1 章　HCC の機能と活用の流れ



①　定型フォームの作成

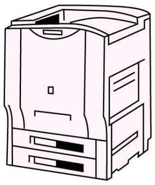
定型フォームを Word や Excel などで作成し、PDF ファイルで保存します。

既存のフォームをスキャナで取り込み、PDF で保存しても使用できます。



②　項目属性データの作成

保存した PDF に項目属性と CSV データを出力する際の項目値を定義します。



③　定型フォームの印刷

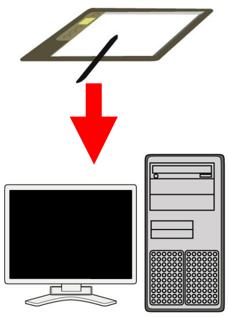
作成された定型フォームの印刷を行います。

普段使っているプリンタで普通紙に印刷できます。



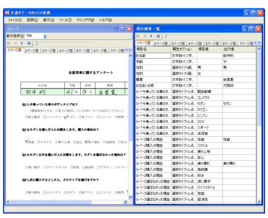
④　定型フォームへの記入

印刷した定型フォームをデジタルノートパッドにセットして、専用ペンで情報を記入します。



⑤　記録したデータの転送

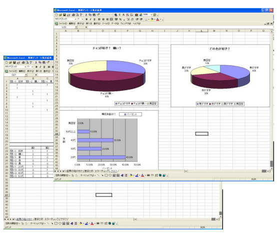
デジタルノートパッドをパソコンに接続し、記録したデータをパソコンに転送します。



⑥　手書きデータの CSV 変換

記録されたデータを解析して CSV ファイルに変換します。

実際に記入されたデータを確認しながら変換を行えます。



⑦　CSV データの校正と CSV データの活用

記録されたデータを確認しながらデータの修正・校正を行う事ができます。

出力された CSV データを加工してデータの整理や分析が可能です。

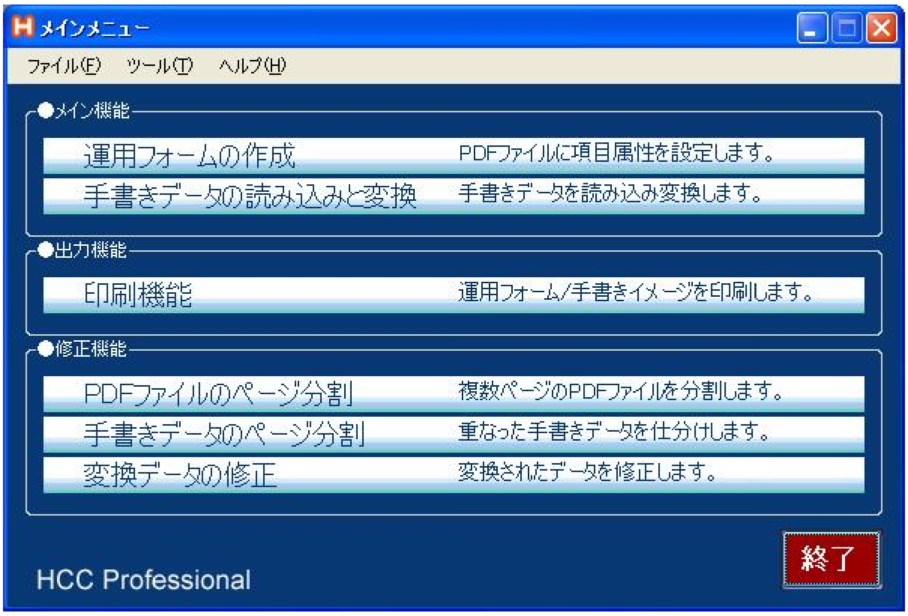
第２章　メインメニュー

アプリケーションの起動

HCC の起動方法には、次の 2 つの方法があります。

●「スタート」＞「すべてのプログラム」＞「HCC」＞「HCC」をクリックして、アプリケーションを起動します。
●デスクトップ・アイコンをクリックして、アプリケーションを起動します。

アプリケーションを起動すると「メインメニュー」ウィンドウが表示されます。



メインメニューの説明

メインメニューの各メニューボタンをクリックすると、それぞれの作業用のウィンドウが表示されます。各メニューの内容は以下の通りです。

運用フォームの作成：

PDF に項目属性（手書き文字の認識、レ点・○囲み判定など）と CSV データを出力する際の項目値を定義します。

手書きデータの読み込みと変換：

手書きデータをパソコンに読み込み、記録されたデータを解析して CSV ファイルに変換します。

印刷機能：
項目属性を定義した運用フォームを印刷します。また、運用フォームに手書きデータを重ねて印刷することもできます。

PDF ファイルのページ分割：
HCC で利用するために複数ページの PDF ファイルを 1 ページごとに分割します。

手書きデータのページ分割：
通常の操作では必要ありませんが、デジタルノートパッドの改ページボタンを押さずに、複数枚のデータを記入した場合、任意のストロークでページの分割ができます。

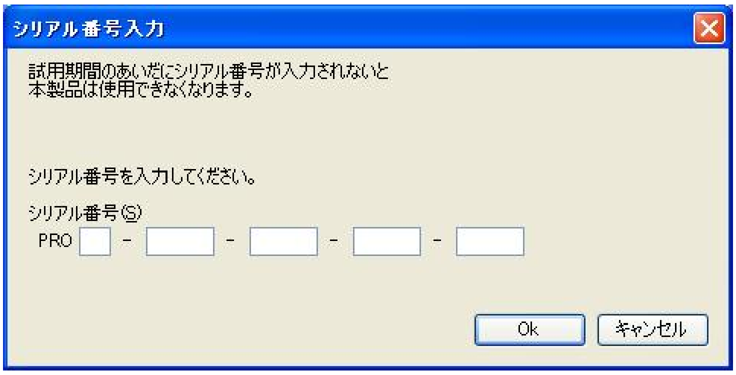
変換データの修正：
記録されたデータを確認しながら CSV ファイルの修正・校正を行うことができます。

ヘルプ：シリアル番号入力
シリアル番号を入力し、体験版の制限を解除します。
ヘルプ（H）をクリックすると「HCC MENU のバージョン情報」ウィンドウが表示されます。



※正規版をご購入いただいたお客様は、シリアル番号の入力を行ってください。
※インストールから 90 日経過した後、シリアル番号の入力を行わないと本プログラムを起動することが出来なくなります。

[シリアル番号ボタン]をクリックすると「シリアル番号入力」ウィンドウが表示されます。

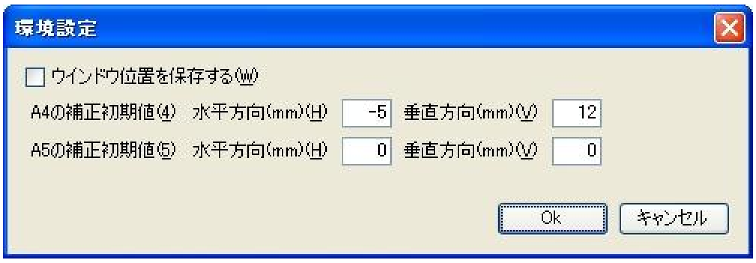


弊社から発行されたシリアル番号を入力して[OK]をクリックしてください。
※試用期間が過ぎたあとにプログラムを起動すると、以下の画面が表示されます。
その場合、上記と同様にシリアル番号を入力してください。



その他の機能

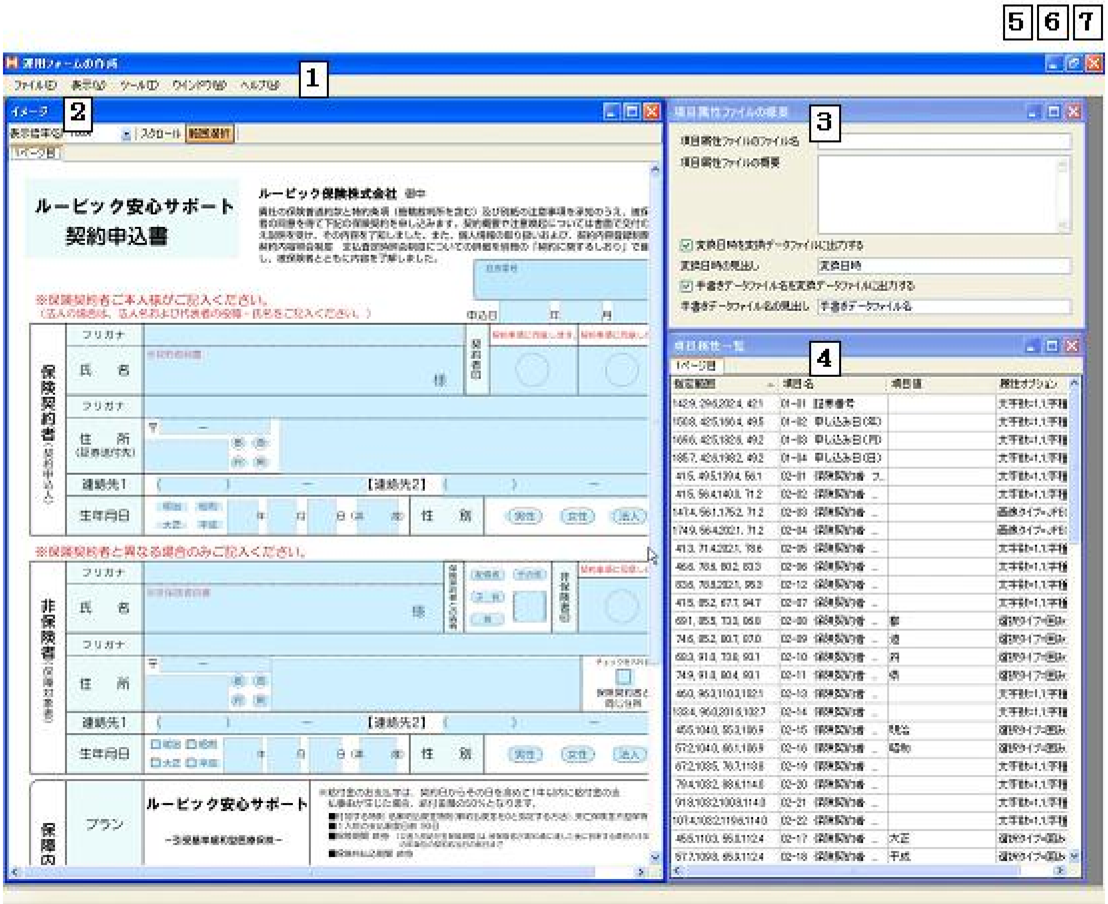
・ウィンドウの固定
メニューバーの「ツール（T)」＞「オプション（O)」をクリックすると環境設定ウィンドウが表示されます。



「ウィンドウの位置を保存する（W)」に　チェックをつけると、今後アプリケーションを起動した時、メインメニューのウィンドウの位置を固定できます。
再度クリックし、チェックをはずすとウィンドウの位置を固定が解除されます。
※現在表示されている位置に固定されます。

・デジタルノートパッドの位置補正の初期値を設定する
デジタルノートパッドから取り込んだ手書き文書の位置補正の初期値を設定することができます。
初期状態では A4（水平方向：-5mm、垂直方向：12mm)、A5（水平方向：0mm、垂直方向：0mm）に設定されています。

画面説明



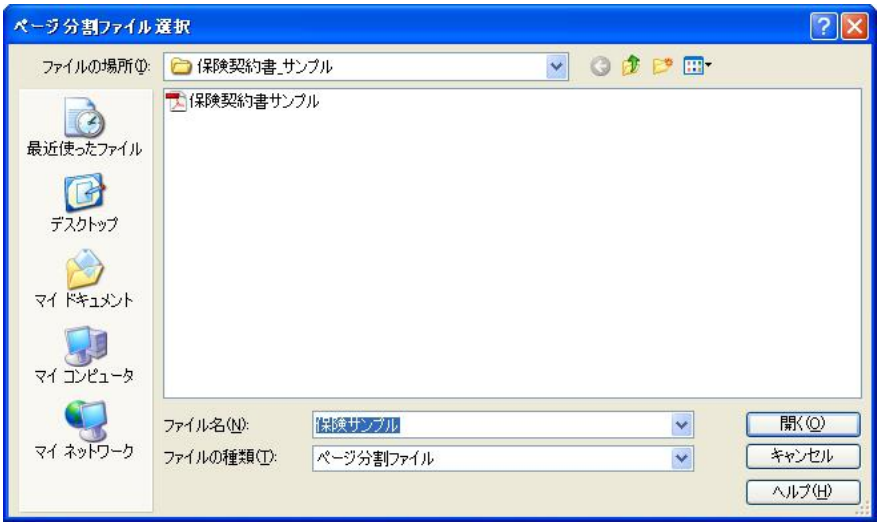
番号	名称	説明
1	メニューバー	運用フォームの作成の機能全般
2	イメージウインドウ	項目属性の設定を行うウィンドウです
3	項目属性ファイルの概要ウィンドウ	編集しているファイルの概要やメモを記入できます 出力ファイルの設定ができます
4	項目属性一覧ウィンドウ	設定した項目属性の一覧を表示します
5	最小化ボタン	ウィンドウを最小まで縮小してタスクバーに置くボタン
6	最大化ボタン	ウィンドウを拡大するボタン
7	閉じるボタン	ウィンドウを閉じるボタン

項目属性ファイルの新規作成

メニューバーの「ファイル（F)」＞「新規作成（C)」をクリックします。

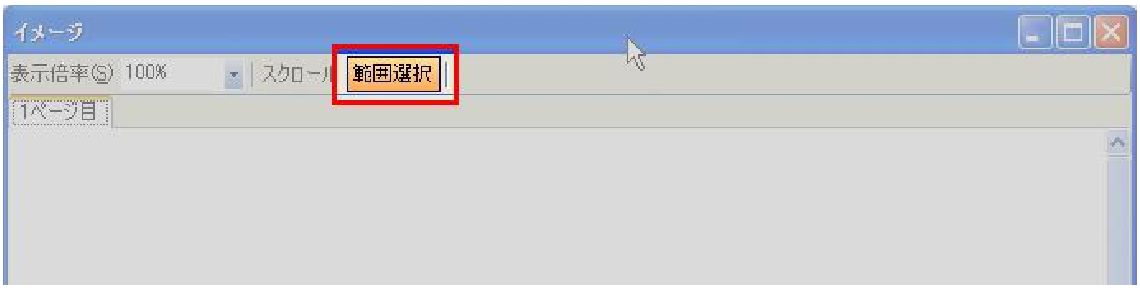


「ページ分割ファイルの選択」のダイアログボックス内にて項目属性を付けるファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。

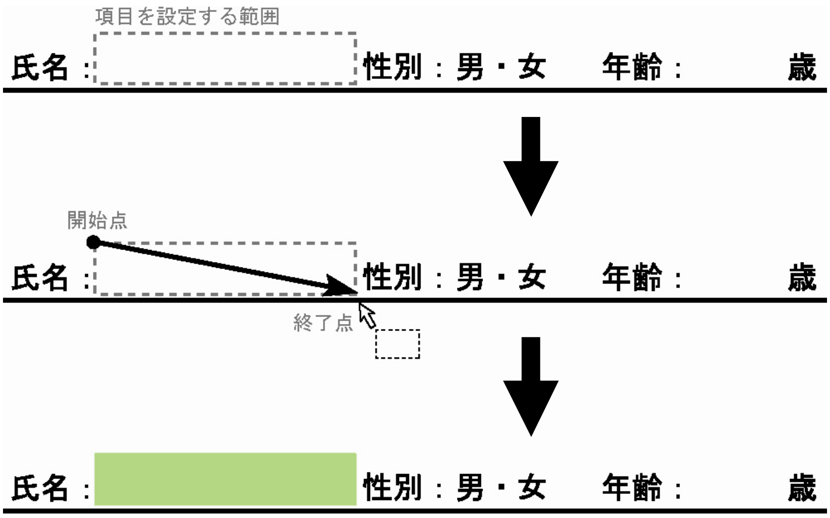


項目属性を指定する範囲を設定する

定型フォームに項目属性を設定する作業は「イメージウインドウ」で行います。
「イメージウインドウ」上部の「選択範囲」をクリックします。



項目属性を設定したい範囲をマウスの左ドラックで指定します。



選択した範囲が緑色に表示されます。

項目属性の内容を設定する

緑色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。
指定した選択範囲がオレンジ色に変わり、ポップアップメニューが表示されます。



番号	名称	説明
1	指定範囲	範囲指定した場所を数字（mm）で表記します
2	項目名	項目の名称を入力します
3	接頭語追加ボタン	「項目名」に登録した接頭語を追加します
4	項目タイプ	認識する項目のタイプを選択します
5	OK ボタン	入力した設定を反映します
6	キャンセルボタン	入力した設定をキャンセルします
7	削除ボタン	指定した選択範囲を削除します

1．指定範囲を確認する

現在項目属性を設定している範囲の座標が表示されます。テキストボックスに直接数値を入力することで微調整することができます。

２．項目名を設定する

接頭語ボタンの右横のテキストボックスに項目名を入力します。

３-１．項目タイプを選択する

項目タイプの右横にあるチェックボタンをクリックすると、項目タイプの一覧が表示されます。

設定する項目タイプを選択します。



「手書き文章認識項目」　：　手書き文字をテキストデータとして認識します。

「選択項目」　：　レ点や○囲みなどの選択項目として認識します。

「フリーハンド項目」　：　手書き文字を画像データとして保存します。

３-２．項目タイプを設定する　-手書き文字認識項目-

項目タイプで「手書き文章認識項目」を選択します。

字種の右横にあるチェックボタンをクリックすると、字種の一覧が表示されます。



選択範囲に記入される手書き文字の種類を選択します。

認識させたい項目の左の枠にチェックをつけます。

①基本的な文字種の選択

日本語変換	すべての文字種を認識します。
英語変換	アルファベット、記号、数字、ギリシャ文字、句読点を認識します。

※「日本語変換」「英語変換」は排他的な選択となります。

②文字種の組み合わせ選択

漢字	JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字、句読点を認識します。
ひらがな	ひらがな、記号、句読点を認識します。
カタカナ	カタカナ、記号、句読点を認識します。
ローマ字	アルファベット、記号、句読点を認識します。
全角数字	数字を全角数字として認識します。
半角数字	数字を半角数字として認識します。

※「全角数字」「半角数字」は排他的な選択となります。

③特殊用途の選択

数値	数字を認識します。
メール/Web アドレス	アルファベット、半角数字、記号を認識します。
電話番号	半角数字、記号限定（「(」「)」「-」）を認識します。

※各項目は排他的な選択となります。

※変換文字種の詳細は巻末資料をご覧ください。

3-3．項目タイプを設定する　–選択項目-

項目タイプで「選択項目」を選択します。

選択タイプの右横にあるチェックボタンをクリックすると、選択タイプの一覧が表示されます。



認識させる選択タイプを選択します。

選択タイプは以下の通りです。

レ点選択	チェックボックスにチェックが入った時に、設定した項目値を出力します。
囲み選択	選択範囲をまるで囲んだ時に、設定した項目値を出力します。

※各項目は排他的な選択となります。

3-4．項目タイプを設定する　–フリーハンド項目-

項目タイプで「フリーハンド項目」を選択します。
画像タイプの右横にある　チェックボタンをクリックすると、画像タイプの一覧が表示されます。



保存するファイルタイプを選択します。
記入した手書きデータと一緒に背景の画像も出力したいときは「背景出力」の□をクリックしてチェックを付けます。

項目値を設定する

項目値の右横のテキストボックスにCSVに出力する項目値を入力します。

全ての設定を入力し、[OK]ボタンを押します。
指定範囲の項目設定が完了し、範囲が緑色から水色に変わります。

項目属性を指定する範囲を修正する

水色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。
指定した選択範囲がオレンジ色に変わり、項目属性の設定と同じポップアップメニューが表示されます。



内容を修正して[OK]ボタンを押します。

項目属性を指定する範囲を削除する

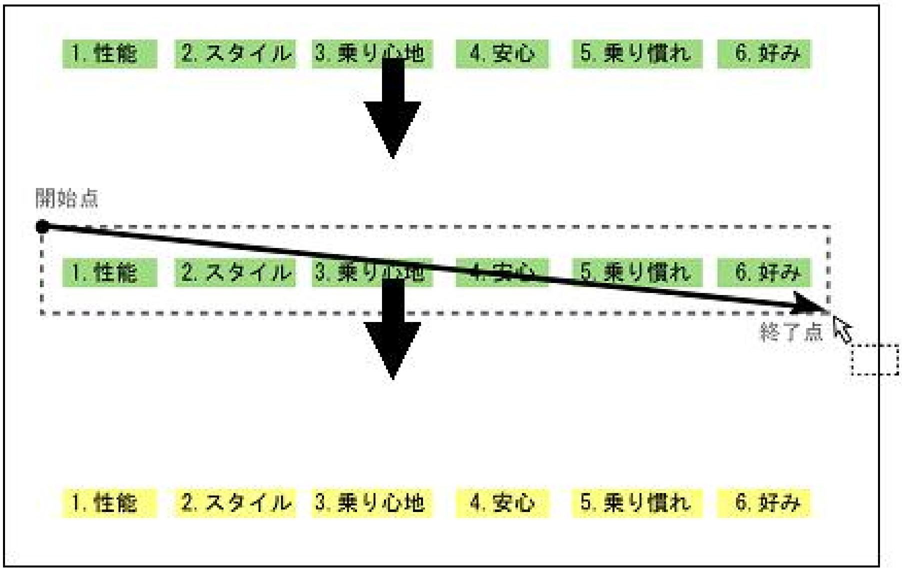
水色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。
指定した選択範囲がオレンジ色に変わり、項目属性の設定と同じポップアップメニューが表示されます。
[削除]ボタンを押すと、指定した範囲が消去されます。

複数の項目名を設定する

複数の指定範囲の項目名に接頭語を追加することができます。

「Ctrl キー」を押しながら設定範囲を左クリックするか、「Ctrl キー」を押しながら指定したい設定範囲が含まれるように左ドラッグすることで、グループ化することができます。

指定した範囲は「薄黄色」に変わります。



薄黄色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。

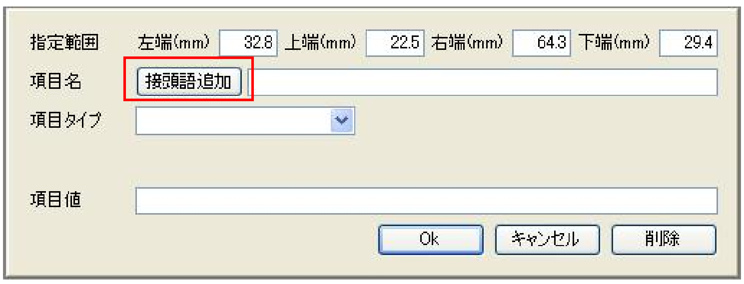
接頭語ポップアップメニューが表示されます。



テキストボックスに追加する接頭語を記入します。

[接頭語追加]ボタンをクリックし、次に[OK]ボタンをクリックします。

入力した接頭語がメモリに保存され、項目設定ポップアップメニューの[接頭語追加]ボタンで、記憶した接頭語を追加できます。

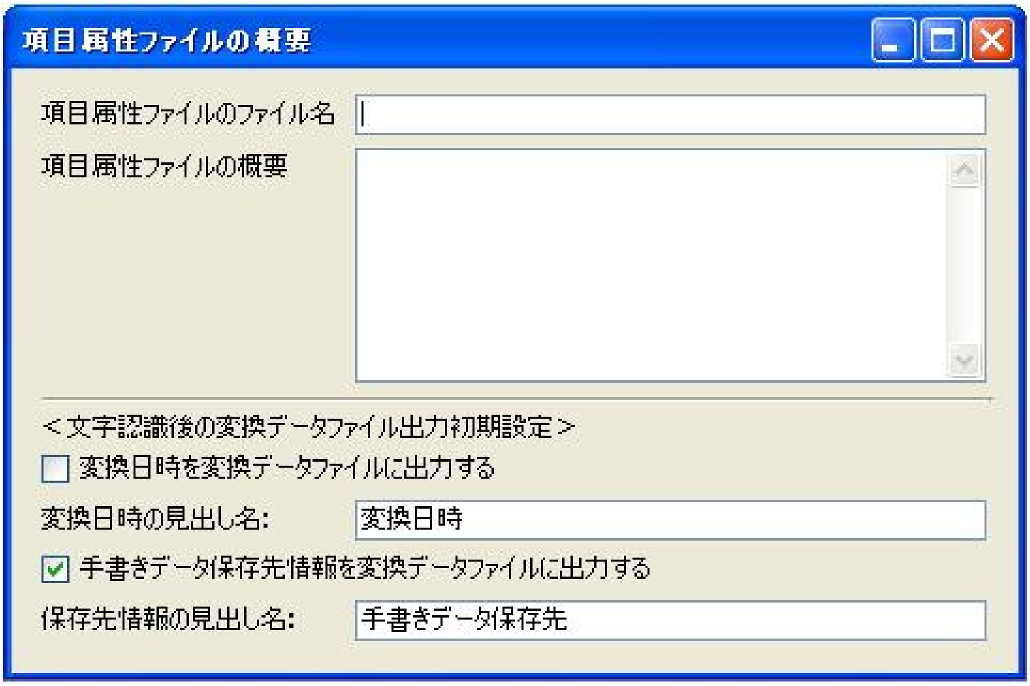


項目属性ファイルの概要について

この項目では現在編集している項目属性ファイルの名前と概要をメモすることができます。
ここで記入した内容は CSV ファイルには出力されません。
また、変換日時と DNT ファイル名を CSV ファイルに出力するかどうかを設定することが出来ます。

項目属性ファイルの概要を表示する

メニューバーの「表示（V）」＞「項目属性ファイルの概要（D）」をクリックします。
項目属性ファイルの概要ウィンドウが表示されます。



ファイルの名前と概要などを記入して、メモとして活用ください。

「変換日時を変換データファイルに出力する」の左の枠にチェックをつけると、「手書きデータの読み込みと変換」で出力される CSV データに変換した日時を出力します。
「変換日時の見出し名」の右側のテキスト枠に変換時の項目名を設定することができます。

「手書きデータ保存先情報を変換データファイルに出力する」の左の枠にチェックをつけると、「手書きデータの読み込みと変換」で出力される CSV データに変換したファイル名を出力します。
「保存先情報の見出し名」の右側のテキスト枠に変換時の項目名を設定することができます。

項目属性ファイルの一覧

設定した項目属性を一覧表示・編集することができます。

項目属性の一覧を表示する

メニューバーの「表示（V)」＞「項目属性の一覧（L)」をクリックします。

項目属性の一覧ウィンドウが表示されます。



番号	名称	説明
1	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
2	表示項目（見出し）	設定する項目のタイトル名です
3	項目設定一覧フィールド	設定した項目の内容を表示するエリアです

表示項目の設定

項目属性一覧の見出し部分でマウスを右クリックすると、表示項目を選択するポップアップが表示されます。

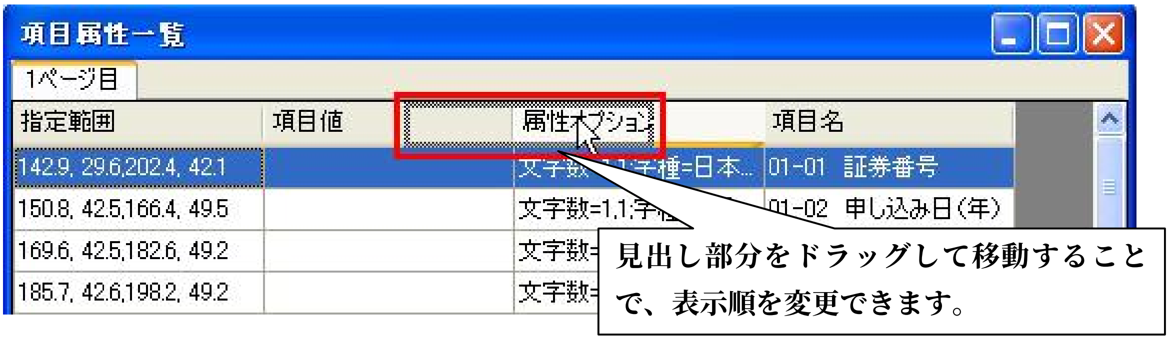


項目名以外をマウスクリックすると表示の ON／OFF を切り替えることが出来ます。

※項目名は必ず表示させる仕様になっています。

項目属性の表示順の変更

項目属性一覧の見出し部分を横にドラッグすると表示順を変更することが出来ます。



項目属性の並び替え

項目属性一覧の見出し部分を左クリックすると、ソート状態を切り替えることが出来ます。ソート状態はマウスで左クリックするごとに、ソートなし→昇順ソート→降順ソート→ソートなしと変化します。

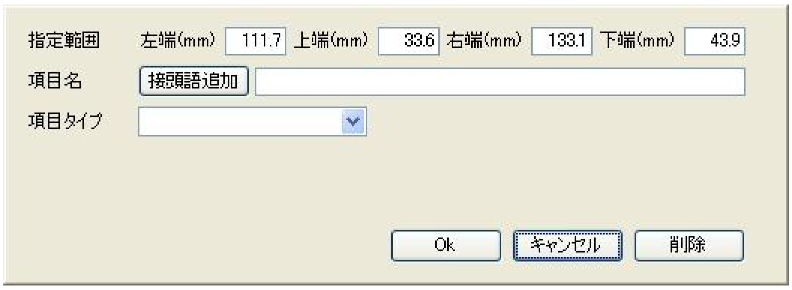
オプション設定ウィンドウの設定

オプション設定ウィンドウで手書きデータファイルのリネームルールと、ソート順および表示順の設定を行うことが出来ます。

メニューバーの「ツール（T）」＞「オプション（O）」をクリックします。
環境設定ウィンドウが表示されます。



項目属性の編集　-修正-
項目設定一覧ウィンドウで、編集したい項目の行を左クリックすると、行全体が反転表示され、イメージウインドウの対応する選択範囲がオレンジ色に変わります。
反転表示された行の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックすると、項目属性の設定と同じポップアップメニューが表示されます。



内容を修正して[OK]ボタンを押します。

項目属性の編集　- コピー / 貼り付け / 削除 -
項目設定一覧ウィンドウで、任意の属性項目の行を左クリックすると、行全体が反転表示されます。
反転表示された行の上にマウスカーソルを移動します。

属性項目のコピー：「Ctrl + C」
　選択された項目属性をメモリにコピーします。

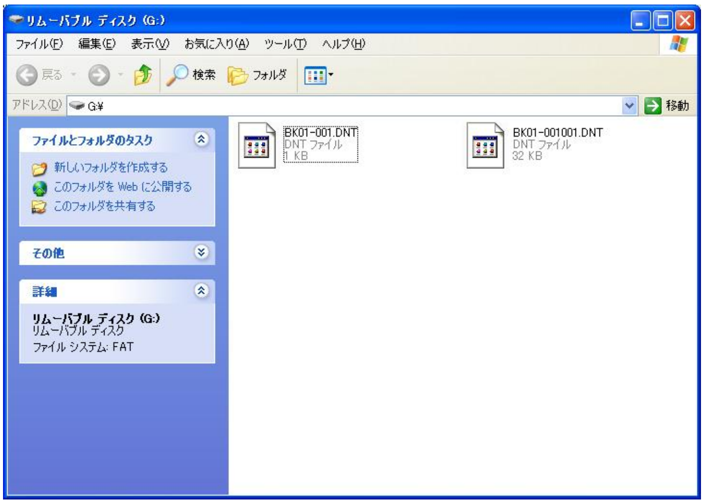
属性項目の切り取り：「Ctrl + X」
　選択された項目属性を切り取り、メモリにコピーします。

属性項目の削除：「Ctrl + D」
　選択された項目属性を消去します。

属性項目の貼り付け：「Ctrl + V」
　メモリにコピーした項目属性を貼り付けます。

デジタルノートパッドのデータをパソコンに転送する

パソコンにデジタルノートパッドを接続すると、デジタルノートパッドの内蔵メモリはリムーバブルディスクとして検出されます。



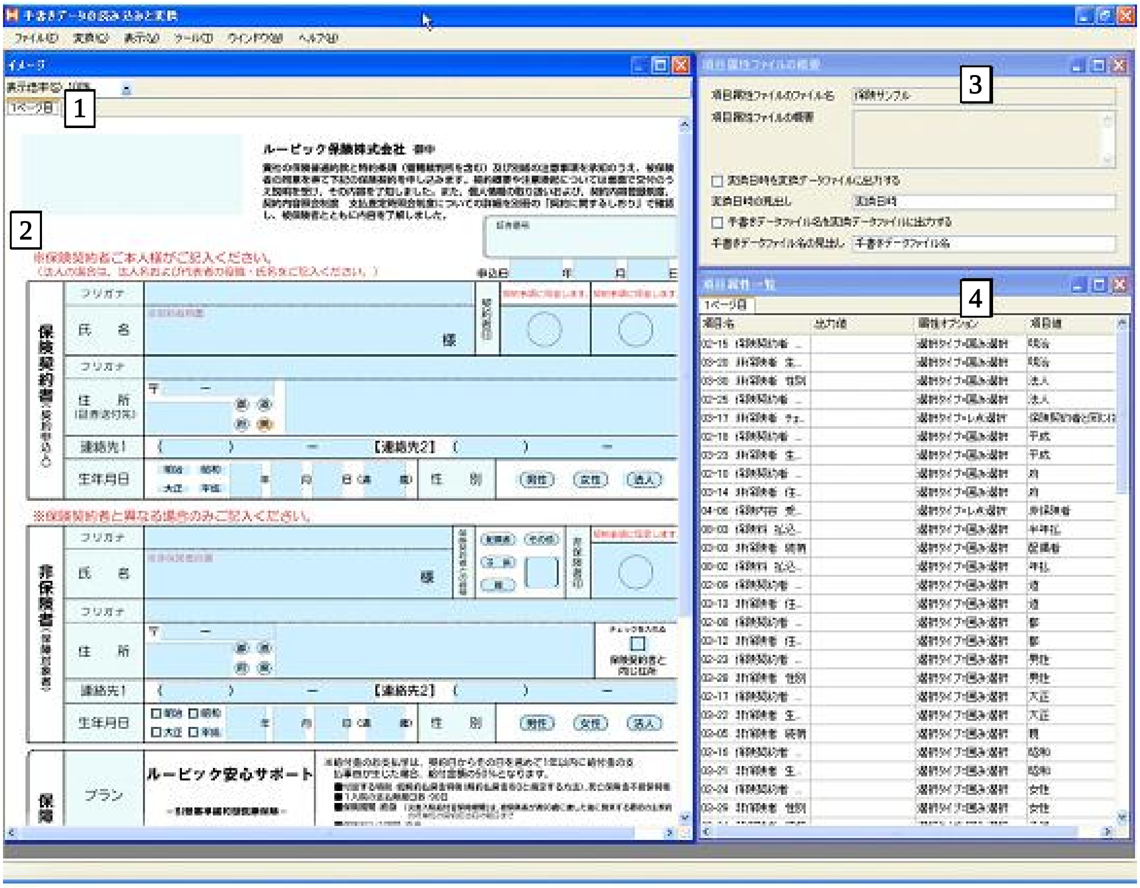
リムーバブルディスクを開き、保存されているデータを、ドラッグ＆ドロップで任意のフォルダに移動してください。

※「Ctrl」を押したままでファイルをクリックすると、ファイルを同時に全て選択することができます。

※「shift」を押しながら２つのファイルをクリックすると、２つのファイル間にある全てのファイルを同時に選択することができます。また、「shift」を押したままカーソルキーを使っても同じ操作が行えます。

手書きデータの CSV 変換

画面説明



番号	名称	説明
1	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
2	イメージウインドウ	項目設定した定型フォームを表示するエリアです
3	項目属性ファイルの概要ウィンドウ	設定する項目属性ファイルの名前・概要を記入するウィンドウです
4	項目属性一覧ウィンドウ	設定した項目属性を一覧表示します

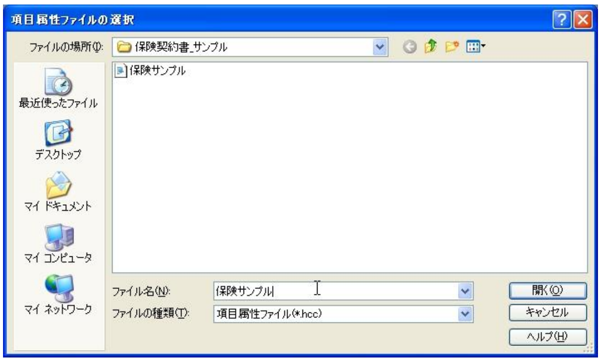
パソコンに移動した手書きデータを読み込む

最初に、定型フォームを読み込みます。

メニューバーの「ファイル（F）」＞「項目属性ファイルを開く（H）」をクリックします。

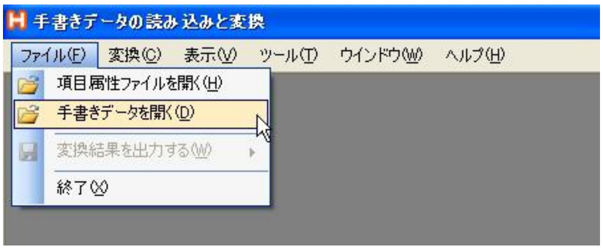


「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて項目属性を設定した定型フォームを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



次に、手書きデータを読み込みます。

メニューバーの「ファイル（F）」＞「手書きデータを開く（D）」をクリックします。



「手書きデータファイルの選択」のダイアログボックス内にて変換する手書きデータを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



※「Ctrl」を押したままでファイルをクリックすると、ファイルを同時に全て選択することができます。
※「shift」を押しながら２つのファイルをクリックすると、２つのファイル間にある全てのファイルを同時に選択することができます。また、「shift」を押したままカーソルキーを使っても同じ操作が行えます。

手書きデータの位置補正

パソコンに取り込んだ手書きのデータと、定型フォームの位置がずれているときは、位置補正をかけて手書きデータの位置を調整します。

手書きデータの位置補正の起動方法には、次の 2 つの方法があります。
●イメージウィンドゥ上でカーソルキーにて位置を調整する。
●「位置補正」ウィンドウに数値を入力して位置を調整する。

・イメージウインドウ上でカーソルキーにて位置を調整する。
キーボード上のカーソルキーを打鍵する事で、手書き入力データの位置を補正できます。
1.イメージウインドウ内をクリックし、ウィンドウをアクティブ状態にします。
2.下記の表に従い、キーボードで操作が行えます。
※上[↑]、下[↓]、左[←]、右[→]の移動が可能です。
※[Shift]キー、[Ctrl]キーと組み合わせた操作でより細かい位置修正が可能です。

キー操作	移動する距離
カーソルキー	1mm
[Shift] ＋ カーソルキー	0.1mm
[Ctrl] ＋ カーソルキー	5mm

・「位置補正」ウィンドウに数値を入力して位置を調整する。
メニューバーの「変換（C）」＞「位置補正（C）」をクリックします。



「位置補正」ウィンドウが表示されます。



水平方向と垂直方向に移動する距離を入力します。

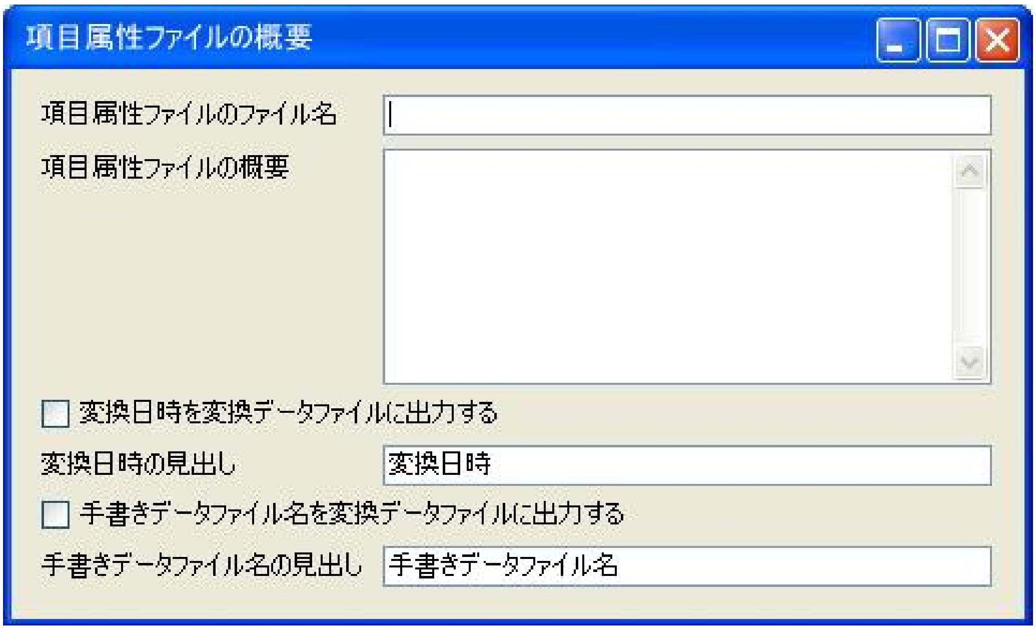
※初期値は A4 版に合わせて設定されています。
※A5 版をご利用の場合は水平方向・垂直方向共に「0」を入力してください。
読み込んだ全てのデータの位置を修正する場合は「全てのページ」にチェックを付けます。
現在表示しているデータのみ位置を修正する場合は「現在のページのみ」にチェックを付けます。
[適用]ボタンをクリックすると、イメージウインドウに移動後の位置が表示されます。

移動後の位置を確認し、[OK]ボタンをクリックすると位置の補正が適用されます。

※一度「位置補正」した運用フォームと手書きデータは、次回同じ定型フォームを開いたときも位置情報が保存されています。
※「規定値として保存（S)」の左の枠にチェックをつけると、指定した数値が今後の規定値として設定されます。

項目属性ファイルの概要について

「運用フォームの作成」と同様に現在編集している項目属性ファイルの名前と概要をメモすることができます。
ここで記入した内容は CSV ファイルには出力されません。
また、変換日時と DNT ファイル名を CSV ファイルに出力するかどうかを設定することが出来ます。

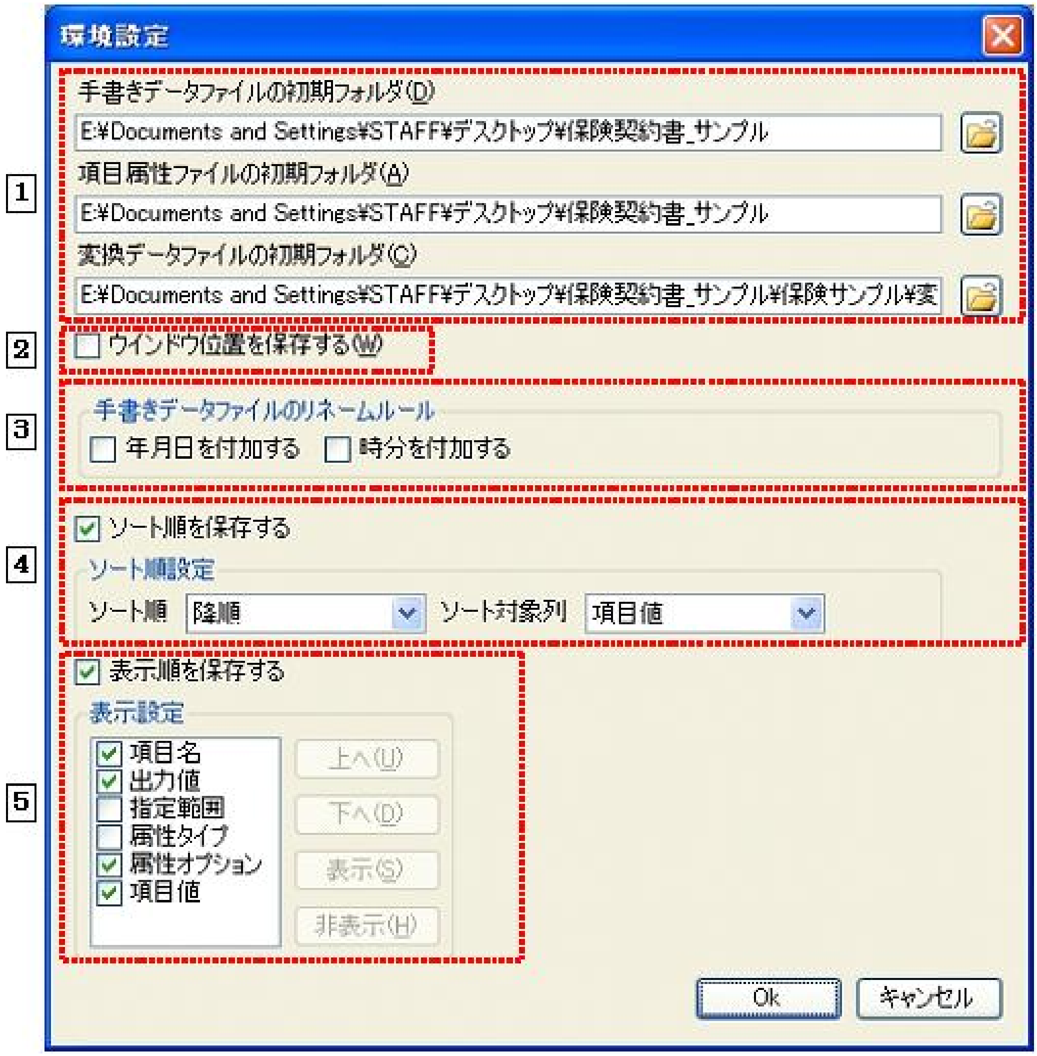


オプション設定ウィンドウの設定

オプション設定ウィンドウで手書きデータファイルのリネームルール、格納される初期フォルダと、ソート順および表示順の設定を行うことが出来ます。

メニューバーの「ツール（T）」＞「オプション（O）」をクリックします。

環境設定ウィンドウが表示されます。



番号	名称	説明
1	初期フォルダ設定	手書きデータや出力データを保存するフォルダを指定します
2	ウィンドウの位置保存	表示されるウィンドウの位置を保存します。
3	リネームルール	手書きデータのリネームルールを指定します。
4	ソートの設定	ソートの順序を設定します。
5	項目一覧の見出し表示	項目一覧の見出しの表示/非表示を及び表示順序を設定します。

初期フォルダの設定

フォルダおよびファイルの自動リネームコピーについて

「手書きデータの読み込みと変換」にて変換実行時にフォルダを自動的に作成し、DNT ファイルをリネームコピーします。

初期状態では以下のように設定されます。

```
HCC ファイル及び pdf ファイルが格納されているフォルダ（例：保険契約書_サンプル）
　　├───HCC ファイル（例：保険サンプル.hcc）
　　├───PDF ファイル（例：保険サンプル.pdf）
　　├───HCC ファイルと同名のフォルダ（例：保険サンプル）
　　│　　　├───手書きデータ
　　│　　　│　　　　├───HCC ファイルと同名+日付+連番.dnt
　　│　　　│　　　　│　　（例：保険サンプル 200806231830_01-001.dnt）
　　│　　　│　　　　├───（例：保険サンプル 200806231830_01-002.dnt）
　　│　　　│
　　│　　　└───変換結果
　　│　　　　　　├───CSV
　　│　　　　　　└───画像
```

ここでは「手書きデータファイル」「項目属性ファイル」「変換データファイル」の初期情報を変更することができます。

ウィンドウ位置を保存する

「ウィンドウの位置を保存する（W）」にチェックをつけると、今後アプリケーションを起動した時、メインメニューのウィンドウの位置を固定できます。

再度クリックし、チェックをはずすとウィンドウの位置を固定が解除されます。

※現在表示されている位置に固定されます。

ソート順を保存する

この項目を設定すると、項目属性ファイル、手書きデータを読み込んだ時点で表示される項目属性一覧ウィンドウの内容にソートをかけて表示することができます。

ソートする方式（昇順／降順）を選択し、ソートする対象の項目を指定します。

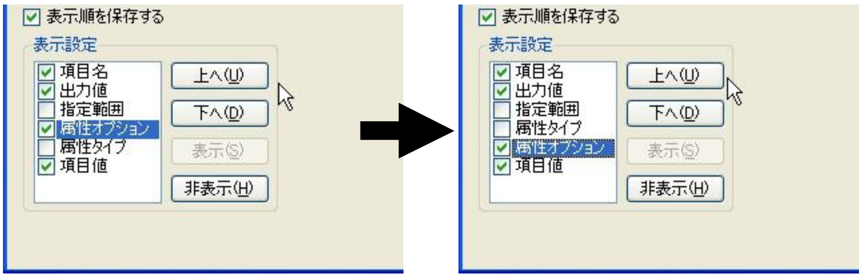
表示順序を保存する

項目属性ファイル、手書きデータを読み込んだ時点で表示される項目属性一覧ウィンドウの内容設定できます。

表示させておきたい項目の左横にチェックをつけます。

チェックのついている項目だけが表示されます。

表示順番を変更したい項目を選択し、[上へ（U）]または[下へ（D）]ボタンをクリックして表示する順番を変更します。



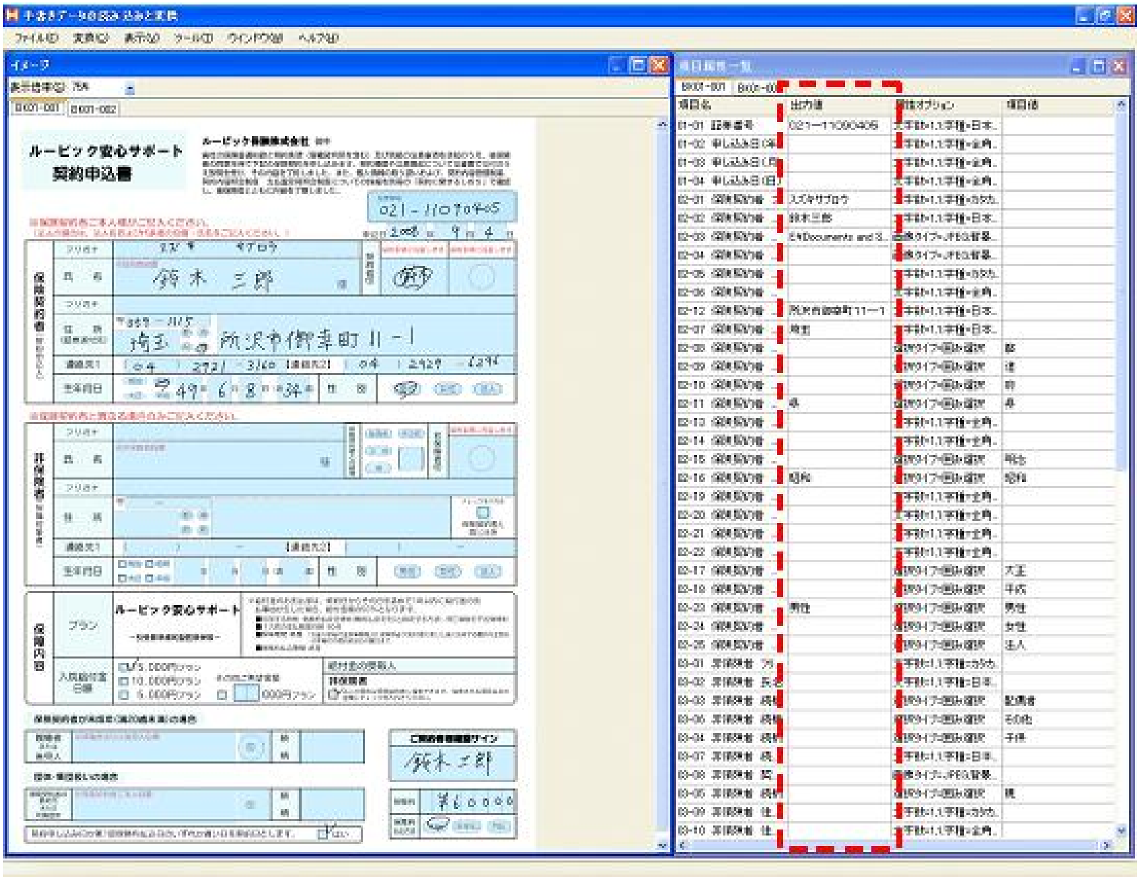
手書きデータを CSV に変換する

位置補正後に手書きデータを CSV に変換します。

メニューバーの「変換（C）」＞「一括変換（A）」または「変換開始（S）」をクリックします。



自動的に CSV ファイルの変換が開始され、項目属性一覧ウィンドウに解析された出力値が追加されます。（下図　点線内）



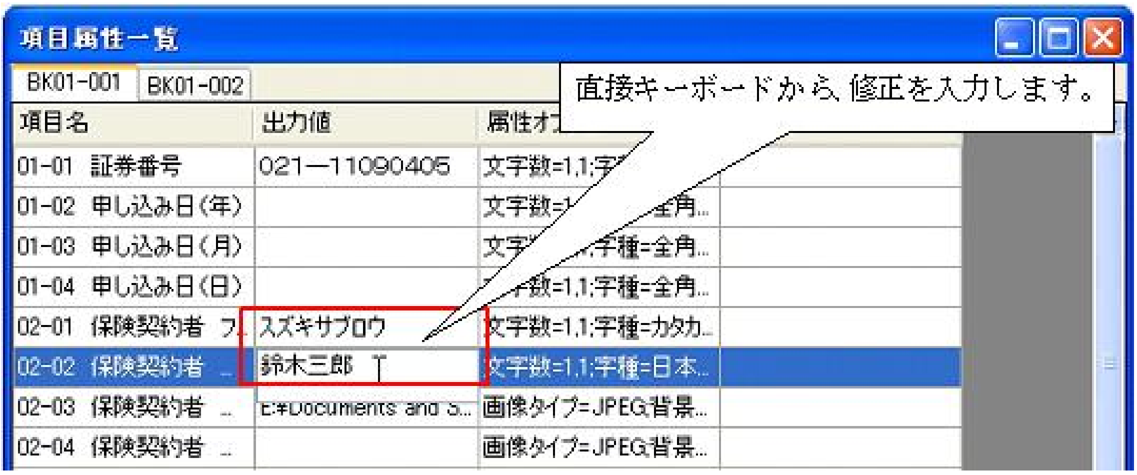
※変換を行った時点で、手書きデータや変換結果を格納するフォルダが作成されます。

出力値のソート

項目属性一覧の見出し部分を左クリックすると、ソート状態を切り替えることが出来ます。ソート状態はマウスで左クリックするごとに、ソートなし→昇順ソート→降順ソート→ソートなしと変化します。

CSV データの修正

項目属性一覧ウィンドウ内で、認識したデータの修正を行うことができます。
変更したい箇所にマウスカーソルを移動して、左クリックします。
選択した箇所が反転し入力可能になりますので直接データを入力してください。

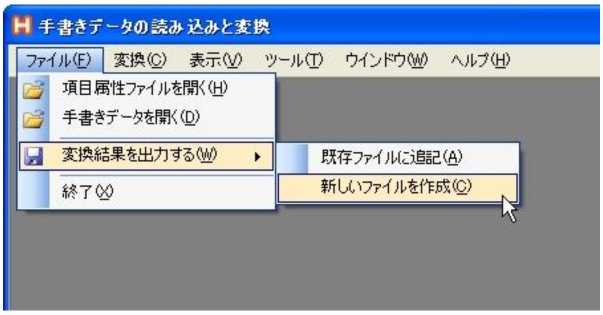


変換結果を出力する

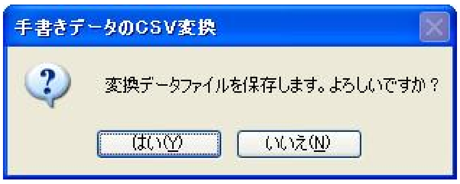
新しいファイルを作成する

新しい CSV ファイルを作成する場合はこちらを選択してください。
既存のファイルに追加する場合は後述の「既存ファイルに追記する」を参照してください。

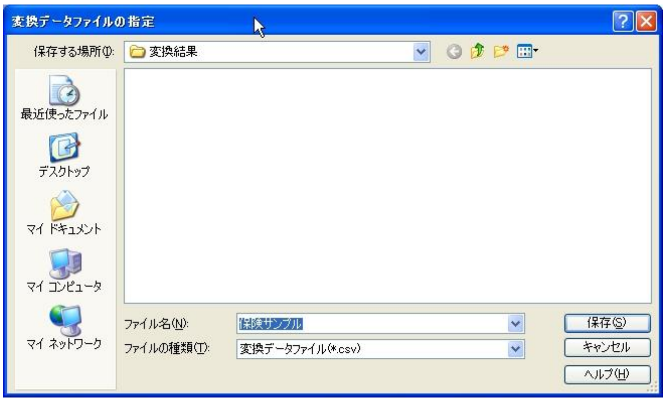
メニューバーの「変換結果を出力する（W）」＞「新しいファイルを作成（A）」をクリックします。



確認メッセージが表示されるので、[はい（Y）]をクリックします。

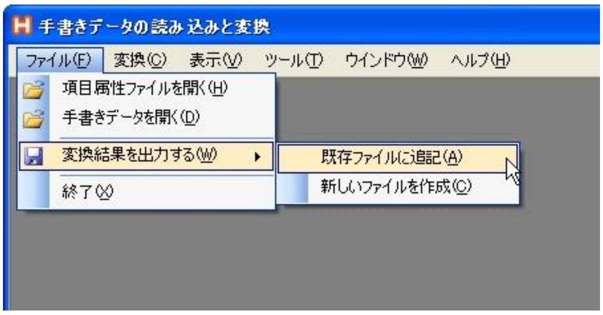


「変換データファイルの指定」のダイアログボックスが表示されます。
保存場所を選択しファイル名を入力し、Enter キーまたは、[保存（S）]ボタンをクリックしてファイルを保存します。



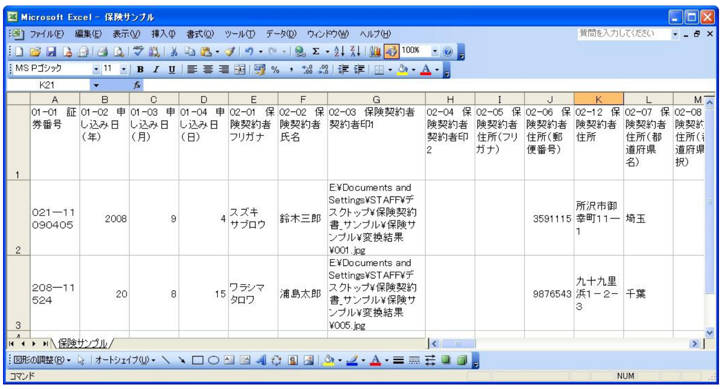
既存ファイルに追記する

変換結果を既存のファイルに追加する場合はこちらを選択してください。
メニューバーの「変換結果を出力する（W）」＞「既存ファイルに追記（C）」をクリックします。



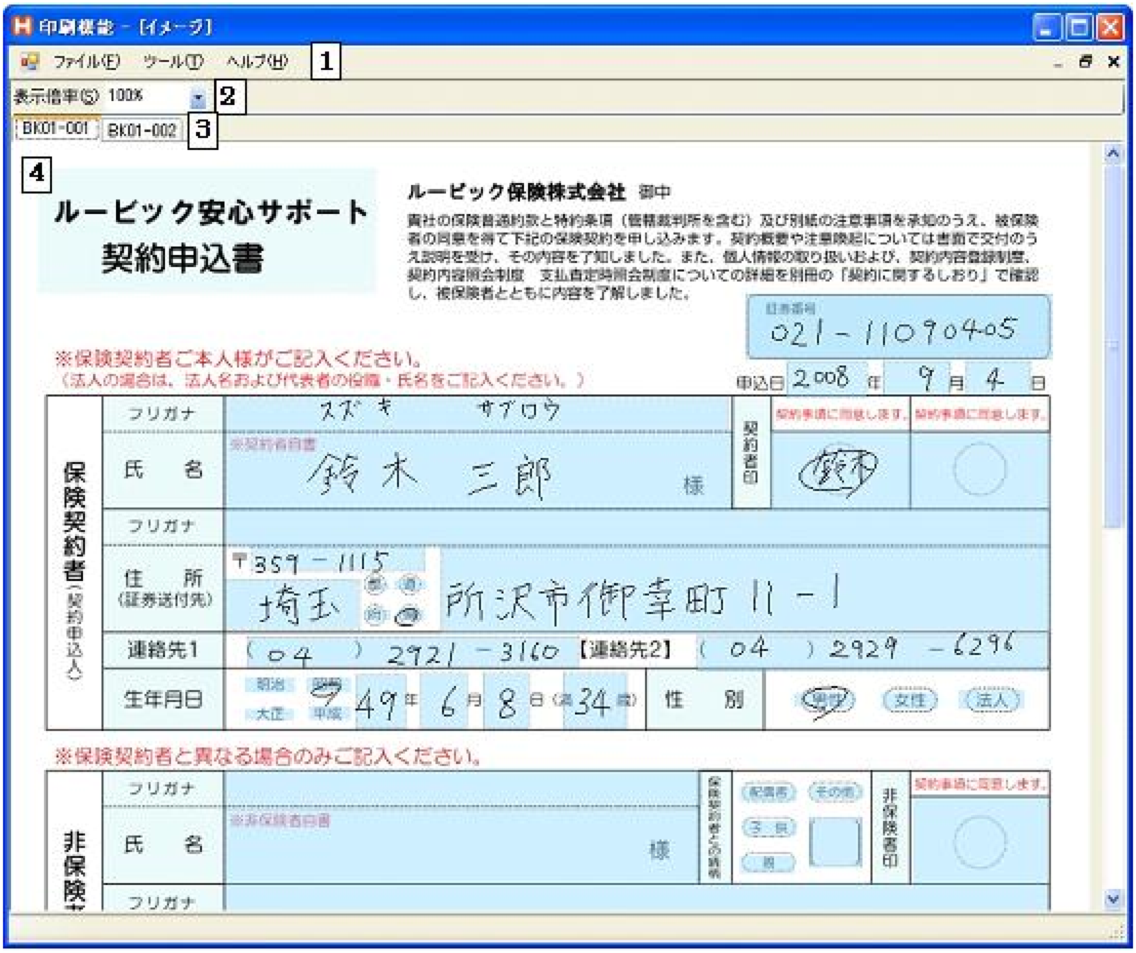
「変換データファイルの指定」のダイアログボックスが表示されます。
以降「新しいファイルを作成する」と同様の手順で操作してください。

下図のように、保存した CSV ファイルは Excel で確認することができます。



「項目属性ファイルの作成」で設定した定型フォーマットを印刷することができます。
また、設定した定型フォーマットに手書きデータを表示した状態も印刷できます。

画面説明

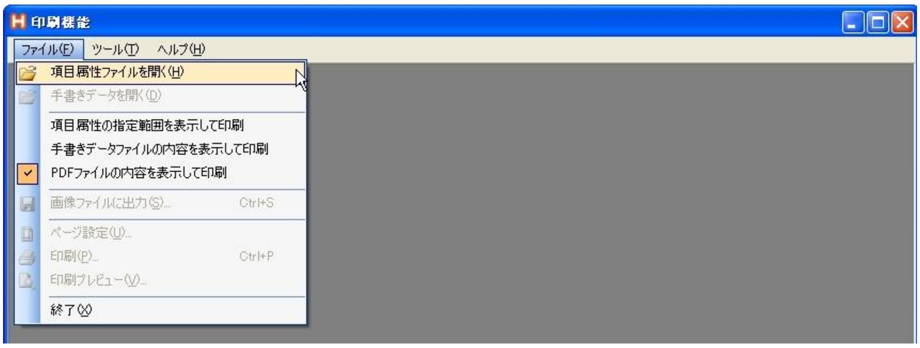


番号	名称	説明
1	メニューバー	PDF ファイルのページ分割機能全般
2	表示倍率ダイアログ	イメージウインドウの表示倍率を選択できます
3	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
4	イメージウインドウ	項目設定した定型フォームを表示するエリアです

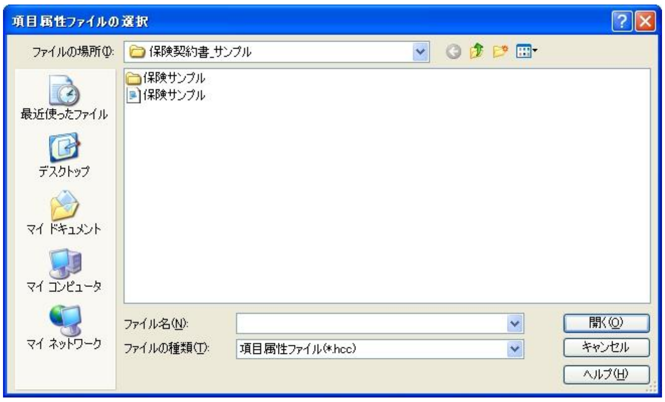
項目を設定したファイルを読み込む

まず、印刷を行う定型フォームをパソコンに読み込みます。

メニューバーの「ファイル（F)」＞「項目属性ファイルを開く（H)」をクリックします。



「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて印刷するファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



次に、手書きデータを読み込みます。

※この操作は、デジタルノートパッドに記入したデータを定型フォームに記入して状態でプリントアウトする場合に使用します。

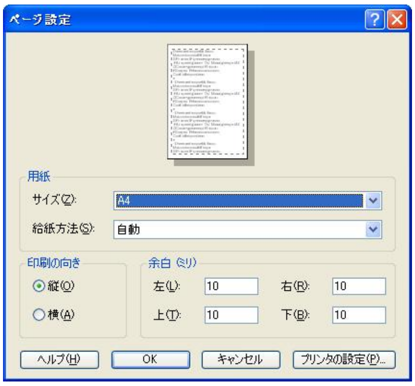


「手書きデータファイルの選択」のダイアログボックス内にて印刷する手書きデータファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



印刷の設定をする

メニューバーの「ファイル（F)」＞「ページ設定（U)」をクリックします。



使用しているプリンタに合わせて用紙設定、印刷設定を行います。

手書きデータの位置補正

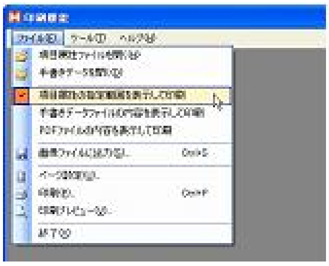
パソコンに取り込んだ手書きのデータと、運用フォームの位置がずれているときは、位置補正をかけて手書きデータの位置を調整します。

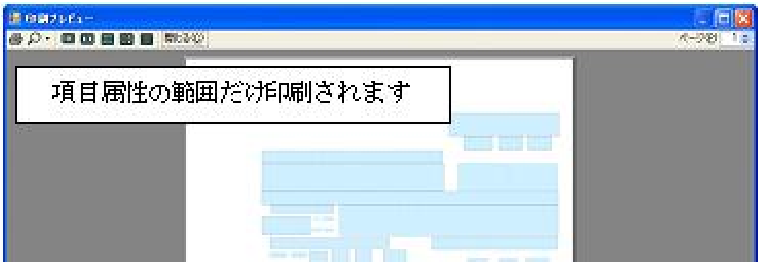
キーボード上のカーソルキーを打鍵する事で、手書き入力データの位置を補正できます。
1.イメージウインドウ内をクリックし、ウィンドウをアクティブ状態にします。
2.下記の表に従い、キーボードで操作が行えます。
※上[↑]、下[↓]、左[←]、右[→]の移動が可能です。
※[Shift]キー、[Ctrl]キーと組み合わせた操作でより細かい位置修正が可能です。

キー操作	移動する距離
カーソルキー	1mm
[Shift] ＋ カーソルキー	0.1mm
[Ctrl] ＋ カーソルキー	5mm

項目属性の指定範囲を表示して印刷する

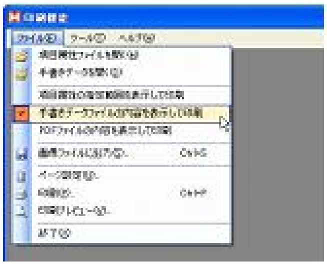
メニューバーの「ファイル（F）」＞「項目属性の範囲を表示して印刷」をクリックします。
この設定を選択すると、項目設定範囲の背景色と文字認識項目の枠が表示された状態で印刷されます。

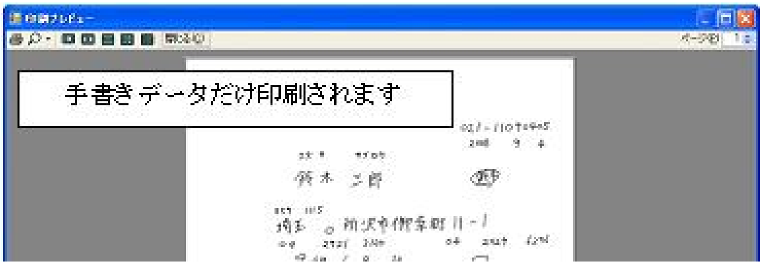




手書きデータファイルの内容を表示して印刷する

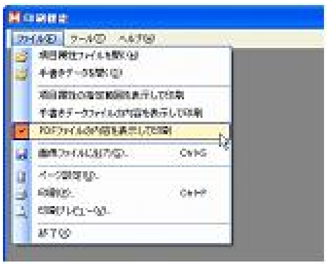
メニューバーの「ファイル（F）」＞「手書きデータファイルの内容を表示して印刷」をクリックします。
この設定を選択すると、手書きデータのストロークが表示された状態で印刷されます。





PDF ファイルの内容を表示して印刷する

メニューバーの「ファイル（F）」＞「PDF ファイルの内容を表示して印刷」をクリックします。
この設定を選択すると、PDF の背景が表示された状態で印刷さます。



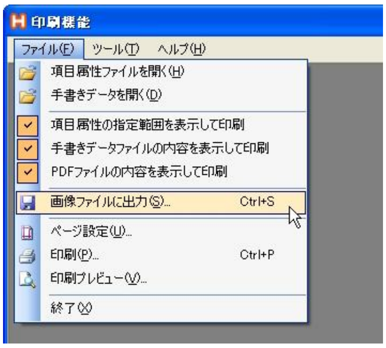


上記の表示を組み合わせて印刷することが出来ます。
（背景 PDF ファイルと手書きデータを重ねて印刷することも出来ます。）

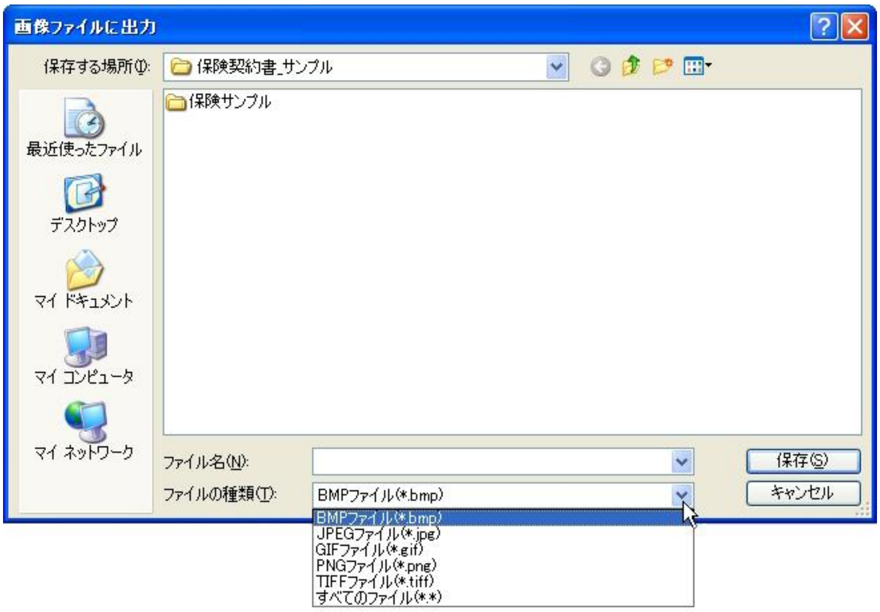
画像ファイルに出力する

印刷設定をした定型フォームと手書きデータを画像として保存することができます。
保存できるデータの形式は BMP、JPEG、GIF、PNG、TIFF です。

メニューバーの「ファイル（F)」＞「画像ファイルに出力（S)」をクリックします。



「画像ファイルに出力」のダイアログボックスが表示されます。
保存場所とファイル名を入力し、保存するファイルの種類を選択し、Enter キーまたは、[保存（S）]ボタンをクリックしてファイルを保存します。



印刷プレビューを表示する

メニューバーの「ファイル（F）」＞「印刷プレビュー（V）」をクリックします。
プレビューウィンドゥが表示されます。



番号	名称	説明
1	印刷の実行	印刷を実行します
2	拡大表示	自動、500%、200%、150%、100%、75%、50%、25%、10%の中から好きなサイズを選んで表示できます
3	複数ページのプレビューを表示	複数ページのプレビューを同時に見ることが出来ます。
4	プレビューを閉じる	プレビューウィンドウを閉じます
5	ページ移動	表示するページを変更します

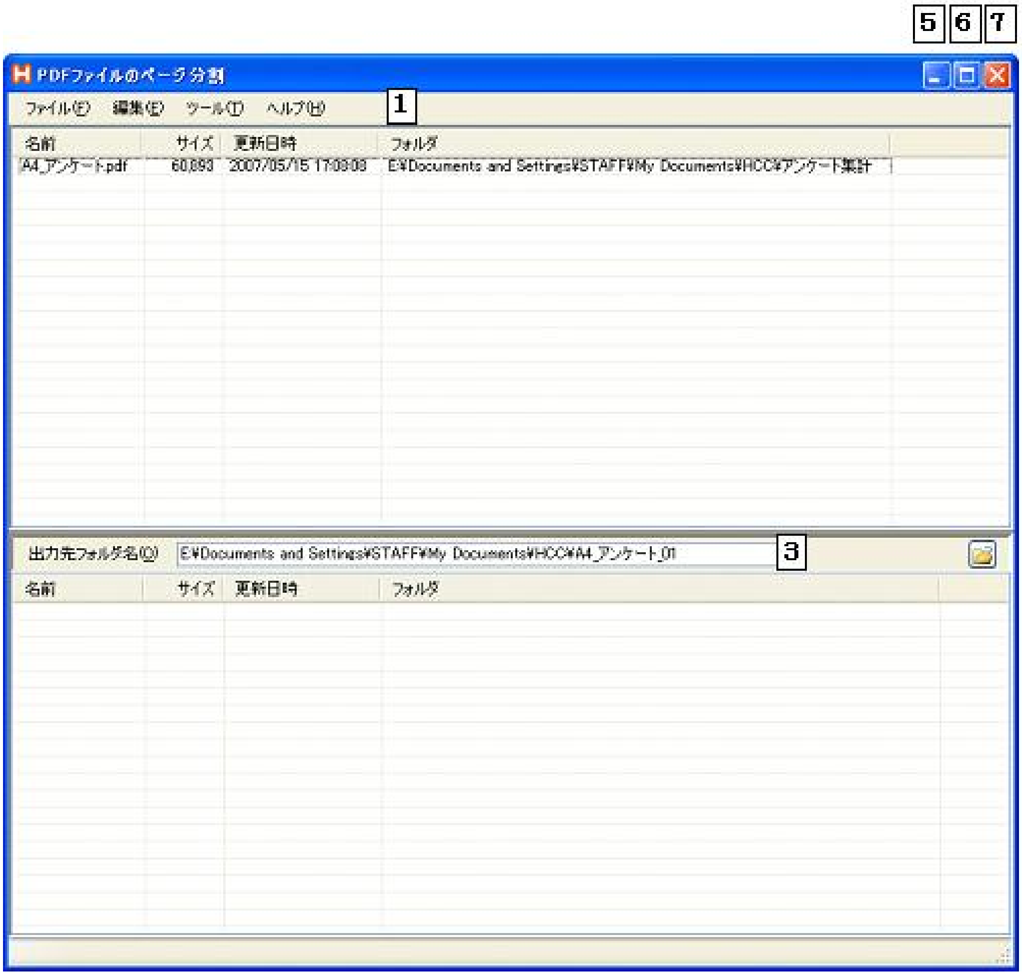
デジタルノートパッドでデータを記入する

印刷した用紙を、対応するデジタルノートパッドにセットして専用ペンで情報を記入してください。
デジタルノートパッドの操作については、同製品のマニュアルを参照してください。

第 7 章　–修正機能-　PDF ファイルのページ分割

HCC では 1 ページごとに項目属性を定義します。
定型フォーマットが複数ページの場合、ここでページの分割を行います。

画面説明



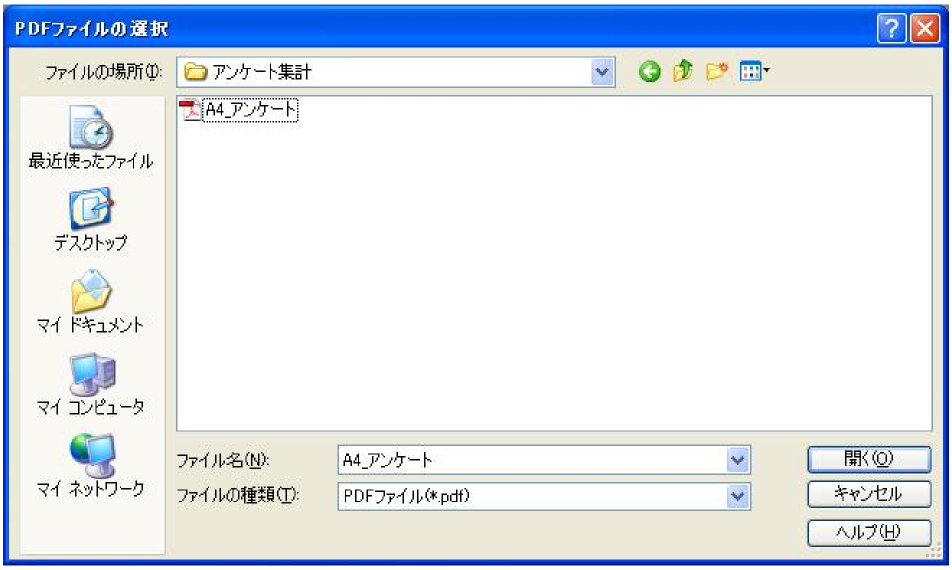
番号	名称	説明
1	メニューバー	PDF ファイルのページ分割機能全般
2	元ファイル表示パネル	分割前の PDF ファイルの情報を表示します
3	出力先指定バー	分割ファイルの保存先を指定します
4	分割ファイル表示パネル	ページ分割後の PDF ファイル情報を表示します
5	最小化ボタン	ウィンドウを最小まで縮小してタスクバーに置くボタン
6	最大化ボタン	ウィンドウを拡大するボタン
7	閉じるボタン	ウィンドウを閉じるボタン

PDF ファイルを読み込む

メニューバーの「ファイル（F)」＞「開く（O)」をクリックします。

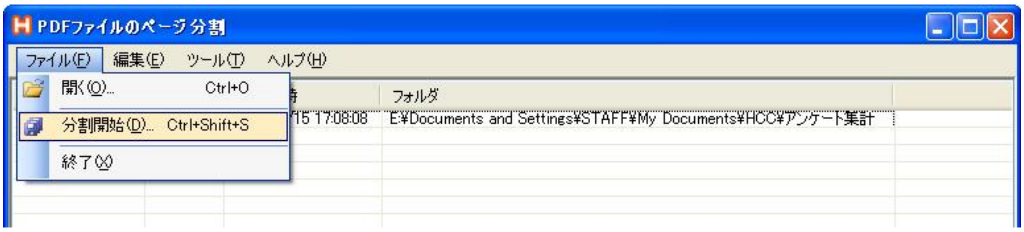


「PDF ファイルの選択」のダイアログボックス内にて分割するファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



PDF ファイルを分割する

メニューバーの「ファイル（F)」＞「分割開始（D)」をクリックします。



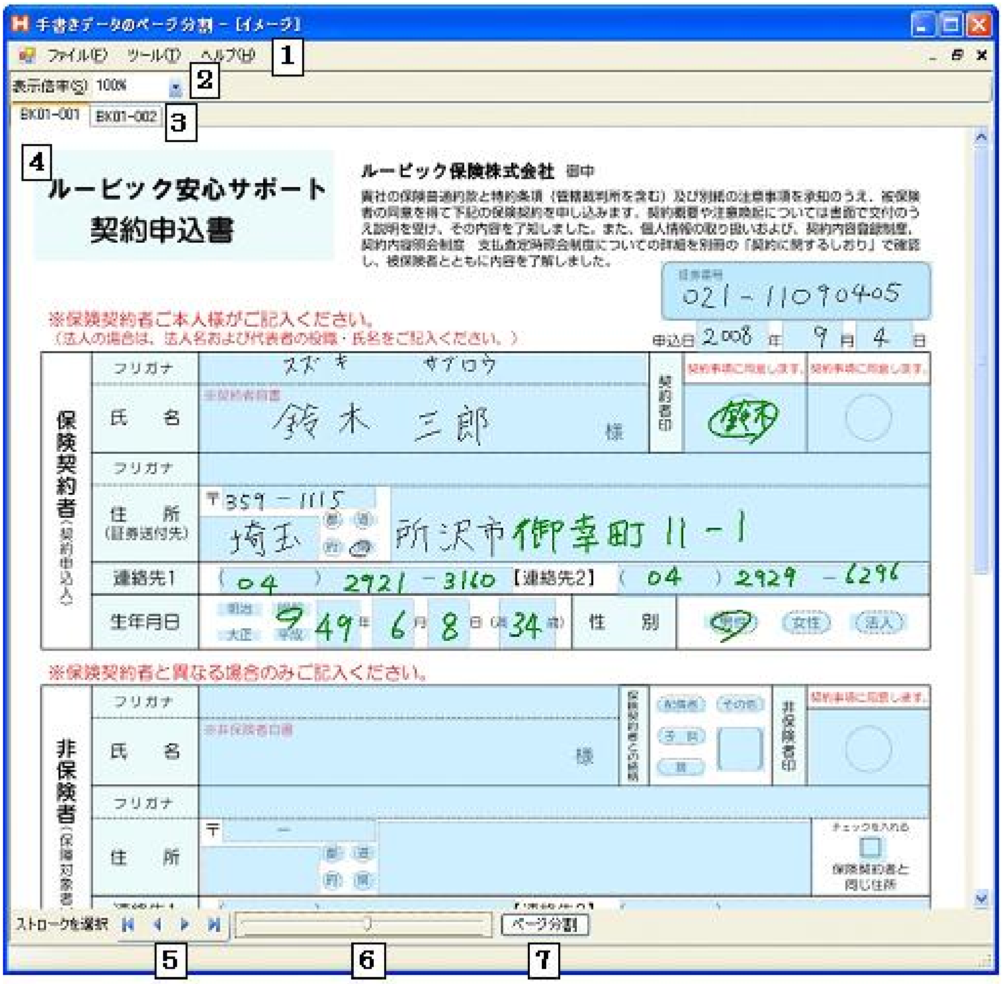
自動的に PDF ファイルの分割が開始され、分割前の PDF ファイルが保存されているフォルダにファイルが保存されます。

※分割された pdf ファイルは「元のファイル名+○○○（連番)」で自動的に保存されます。

保存先のフォルダを変更する場合は、「出力先指定バー」の右側のフォルダアイコンをクリックして、保存先を指定してください。

通常の操作では必要ありませんが、デジタルノートパッドの改ページボタンを押さずに、複数枚のデータを記入した場合、任意のストロークでページの分割ができます。

画面説明



番号	名称	説明
1	メニューバー	項目属性ファイル作成の機能全般
2	表示倍率ダイアログ	イメージウインドウの表示倍率を選択できます
3	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
4	イメージウインドウ	項目設定した定型フォームを表示するエリアです
5	ストローク移動ボタン	書き込まれたストロークの順序を指定します
6	ストローク移動バー	書き込まれたストロークの順序を指定します
7	ページ分割ボタン	ページ分割を実行します

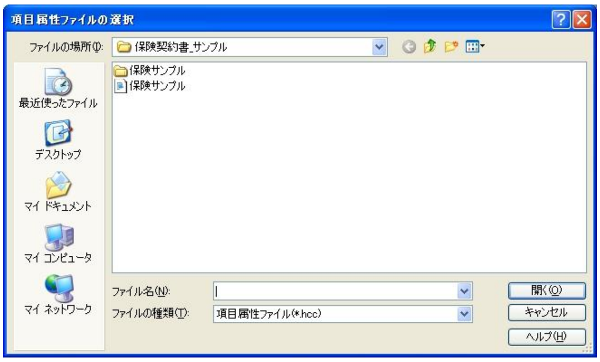
分割するファイルを開く

まず、分割したいデータの定型フォームを読み込みます。

メニューバーの「ファイル（F)」＞「項目属性ファイル開く（H)」をクリックします。



「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて定型フォームファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



次に、分割したい手書きデータファイルを読み込みます。

メニューバーの「ファイル（F)」＞「手書きデータを開く（D)」をクリックします。



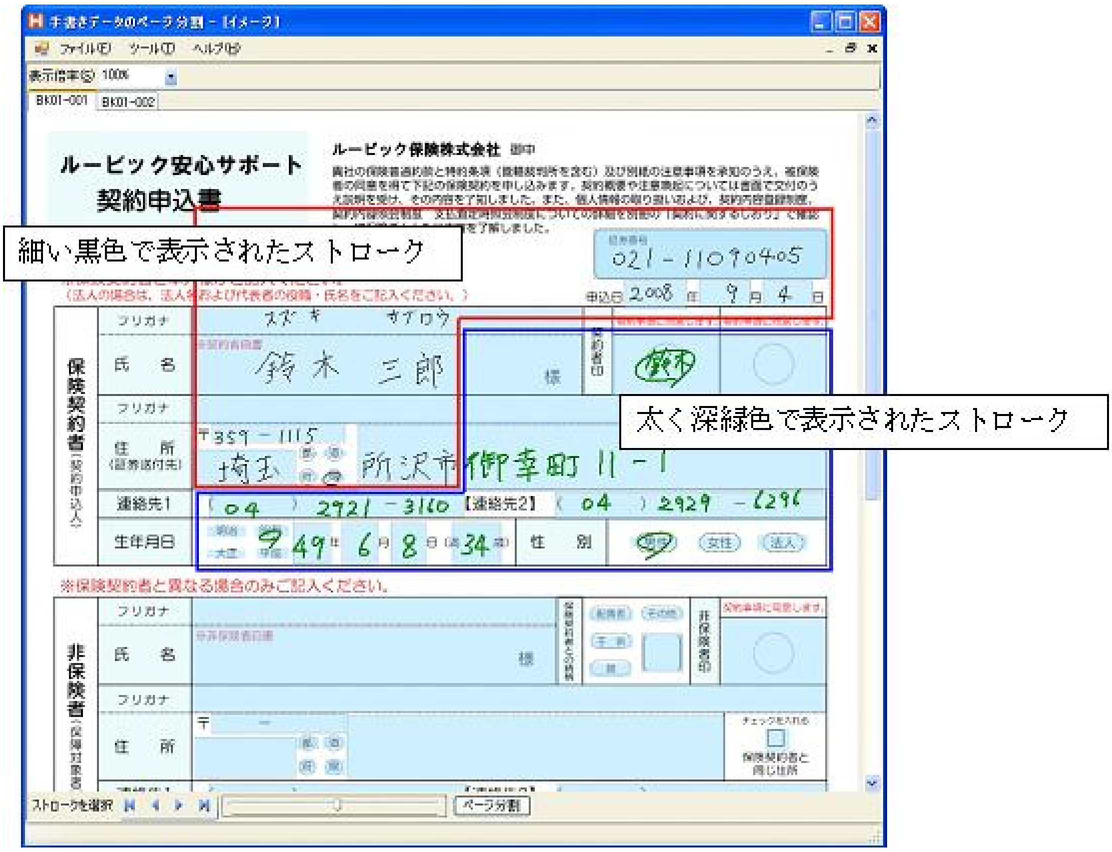
「手書きデータファイルの選択」のダイアログボックス内にて分割したい手書きデータファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



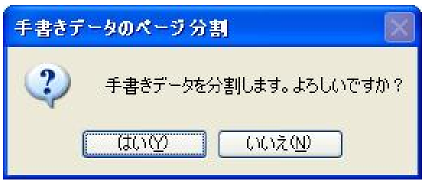
ページ分割を実行する

「ストローク移動ボタン」または「ストローク移動バー」を動かして、ストロークを分割するポイントを設定します。

細い黒色で表示されたストロークと、太く深緑色に表示されたストロークでページを分けます。



[ページ分割]ボタンをクリックすると確認のウィンドウが表示されます。



[はい（Y）]をクリックするとページが分割されます。

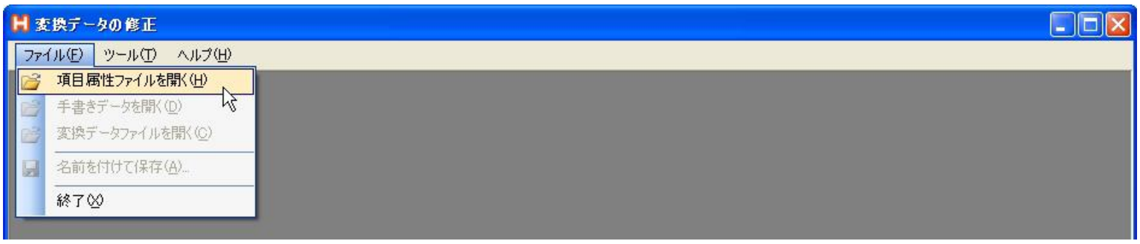
元のファイル名の末尾に「_01」「_02」の番号がついたファイルが作成されます。

第 9 章　–修正機能-　変換データの修正

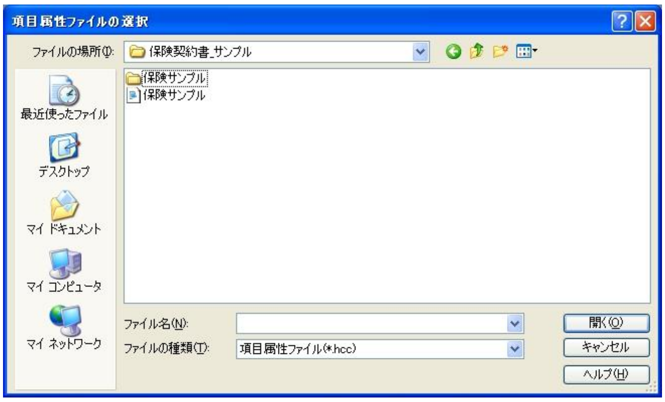
HCC で変換した CSV データを、記録した手書きデータを参照しながら、編集・修正することが可能です。

ファイルを開く

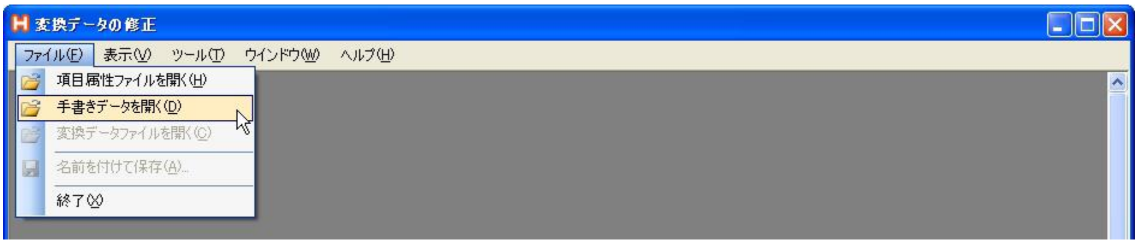
最初に、修正したいデータの定型フォームを読み込みます。
メニューバーの「ファイル（F)」＞「項目属性ファイル開く（H)」をクリックします。



「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて定型フォームファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



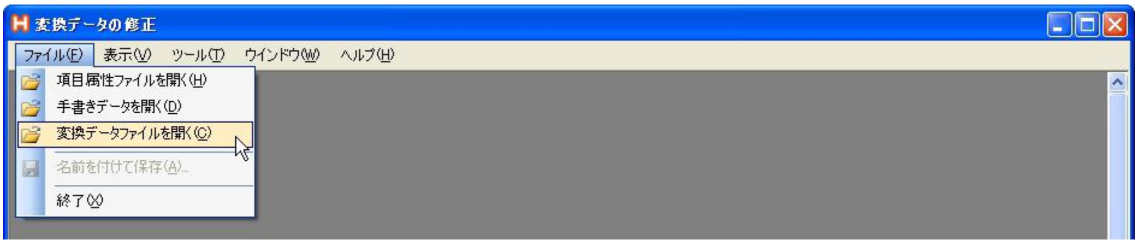
次に、修正したい手書きデータファイルを読み込みます。
メニューバーの「ファイル（F)」＞「手書きデータを開く（D)」をクリックします。



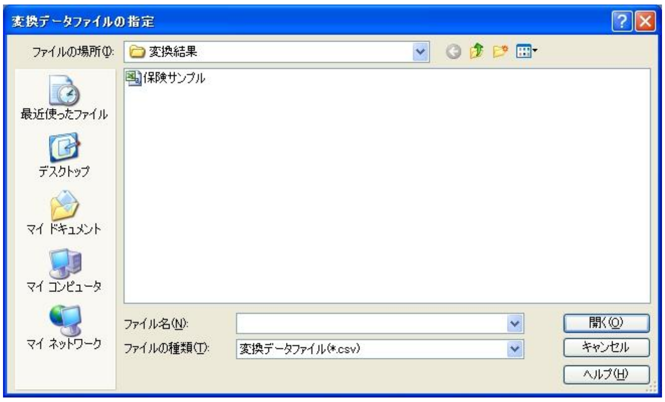
「手書きデータの選択」のダイアログボックス内にて手書きデータファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



最後に、修正したい CSV ファイルを読み込みます。
メニューバーの「ファイル（F）」＞「変換データファイルを開く（C）」をクリックします。



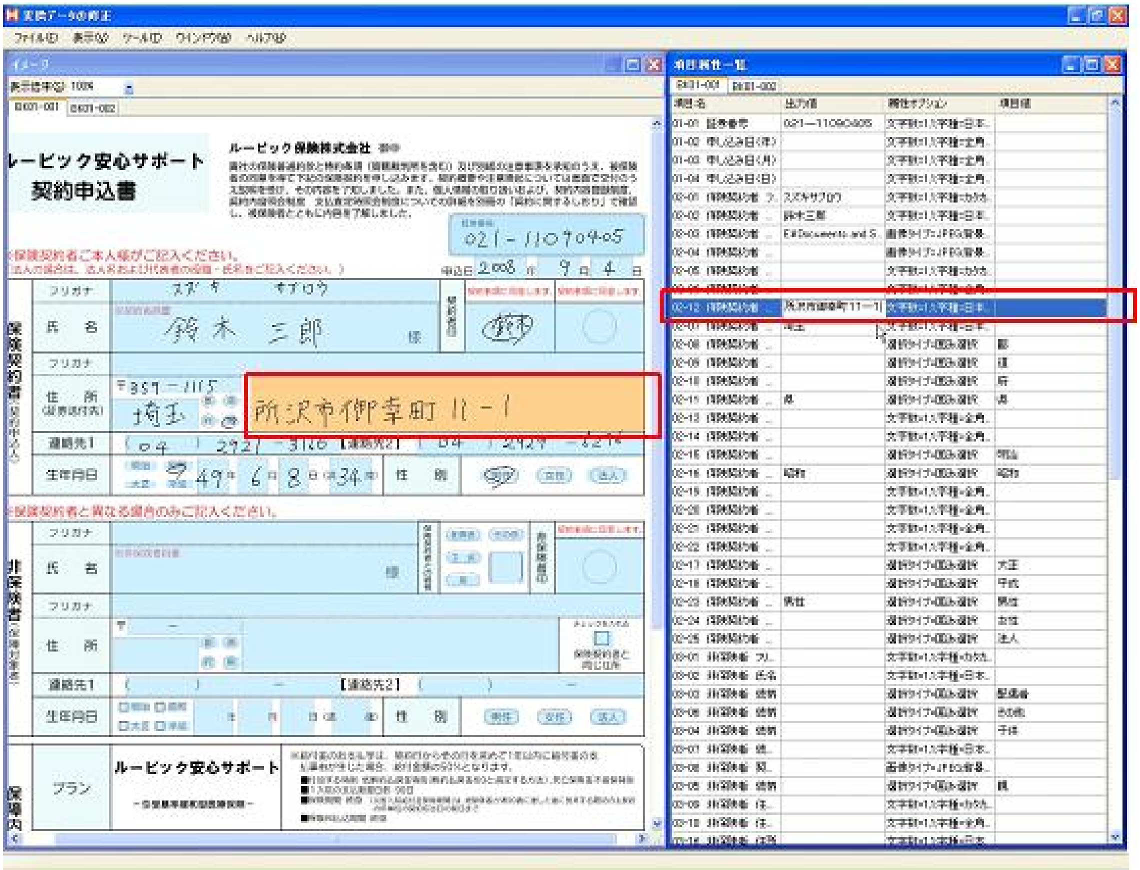
「手書きデータの選択」のダイアログボックス内にて手書きデータファイルを検索し、ダブルクリックまたは、[開く（O）]ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



CSV データを修正する

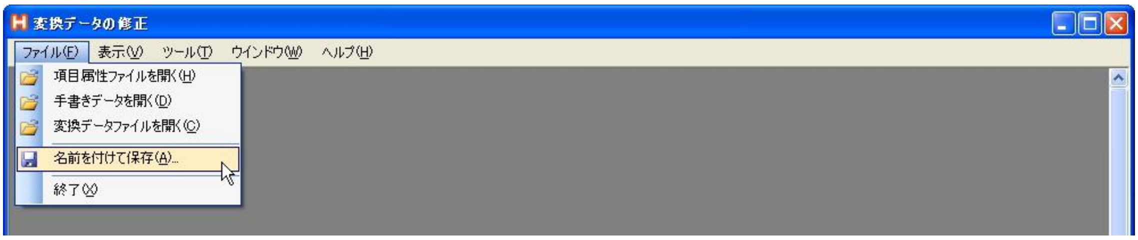
変更したい箇所にマウスカーソルを移動して、左クリックします。

選択した箇所が反転し入力可能になりますので直接データを入力してください。



ファイルを保存する

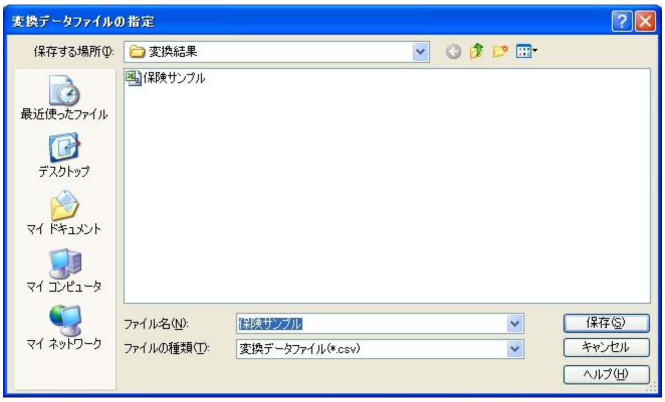
メニューバーの「ファイル（F）」＞「名前を付けて保存（A）」をクリックします。



確認メッセージが表示されるので、[はい（Y）]をクリックします。



「変換データファイルの指定」のダイアログボックスが表示されます。
保存場所を選択しファイル名を入力し、Enter キーまたは、[保存（S）]ボタンをクリックしてファイルを保存します。



※同じファイル名で保存すると、以下の警告文が出表示されます。
内容を確認して「はい（Y）」または「いいえ（N）」をクリックしてください。



以上で、CSV ファイルの保存の完了です。

巻末

HCC での文字認識における文字種の組み合わせについて

1　文字種の組み合わせ

HCC の文字認識における文字種が､実際にどの文字種を含んでいるかについて示します。

HCC での文字種	対象となる文字種
日本語変換	すべての文字種
英語変換	アルファベット、記号、数字、ギリシャ文字、句読点
漢字	JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字、句読点
ひらがな	ひらがな、記号、句読点
カタカナ	カタカナ、記号、句読点
ローマ字	アルファベット、記号、句読点
全角数字	数字
半角数字	数字
数値	数字
メール/Web アドレス	アルファベット、半角数字、記号
電話番号	半角数字、記号限定（「(」「)」「-」）

HCC での文字種	対象となる文字種
日本語（全種）+英数字（全種）	ひらがな、カナカナ、アルファベット、JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字、数字、記号、ギリシャ文字、句読点
ひらがな	ひらがな、記号、句読点
カタカナ	カタカナ、記号、句読点
ローマ字	アルファベット、記号、句読点
全角数字	数字
半角数字	数字
数値	数字

2　認識文字一覧

2.1　記号

（83 文字）

？！＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―
／＼～∥｜…‥（）〔〕［］｛｝〈
〉《》「」『』＋－±×÷＝≠＜＞
≦≧∞∴♂♀°′￥＄％＃＆＊＠§
☆○◎◇□△▽※〒→←↑↓∧∨
≡Σ√

2.2　句読点

（11 文字）

、。，．・：；‘ ’“ ”

2.3　数字

（30 文字）

０１２３４５６７８９①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

2.4　アルファベット

（52 文字）

ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰ
ＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆ
ｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖ
ｗｘｙｚ

2.5　ひらがな

（83 文字）

ぁあぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐ
けげこごさざしじすずせぜそぞただ
ちぢっつづてでとどなにぬねのはば
ぱひびぴふぶぷへべぺほぼぽまみむ
めもゃやゅゆょよらりるれろゎわゐ
ゑをん

2.6 カタカナ

（86 文字）

ァアィイゥウェエォオカガキギクグ
ケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダ
チヂッツヅテデトドナニヌネノハバ
パヒビピフブプヘベペホボポマミム
メモャヤュユョヨラリルレロヮワヰ
ヱヲンヴヵヶ

2.7 ギリシャ文字

（38 文字）

Δ Σ Φ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ
ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω Ⅰ ⅡⅢⅣ
ⅤⅥⅦⅧⅨⅩ

2.8 JIS 第一水準漢字

（2981 文字）

-1 -

亜唖娃阿哀愛挨姶 逢葵茜穐悪握渥旭 葦芦鯵梓圧斡扱宛 姐虻飴絢綾鮎或粟
袷安庵按暗案闇鞍 杏以伊位依偉囲夷 委威尉惟意慰易椅 為畏異移維緯胃萎
衣謂違遺医井亥域 育郁磯一壱溢逸稲 茨芋鰯允印咽員因 姻引飲淫胤蔭院陰
隠韻吋右宇烏羽迂 雨卯鵜窺丑碓臼渦 嘘唄欝蔚鰻姥厩浦 瓜閏噂云運雲荏餌

-2 -

叡営嬰影映曳栄永 泳洩瑛盈穎頴英衛 詠鋭液疫益駅悦謁 越閲榎厭円園堰奄
宴延怨掩援沿演炎 焔煙燕猿縁艶苑薗 遠鉛鴛塩於汚甥凹 央奥往応押旺横欧
殴王翁襖鴬鴎黄岡 沖荻億屋憶臆桶牡 乙俺卸恩温穏音下 化仮何伽価佳加可
嘉夏嫁家寡科暇果 架歌河火珂禍禾稼

-3 -

箇花苛茄荷華菓蝦 課嘩貨迦過霞蚊俄 峨我牙画臥芽蛾賀 雅餓駕介会解回塊
壊廻快怪悔恢懐戒 拐改魁晦械海灰界 皆絵芥蟹開階貝凱 劾外咳害崖慨概涯
碍蓋街該鎧骸浬馨 蛙垣柿蛎鈎劃嚇各 廓拡撹格核殻獲確 穫覚角赫較郭閣隔
革学岳楽額顎掛笠 樫橿梶鰍潟割喝恰 括活渇滑葛褐轄且 鰹叶椛樺鞄株兜竃

-4 -

蒲釜鎌噛鴨栢茅萱 粥刈苅瓦乾侃冠寒 刊勘勧巻喚堪姦完 官寛干幹患感慣憾
換敢柑桓棺款歓汗 漢澗潅環甘監看竿 管簡緩缶翰肝艦莞 観諌貫還鑑間閑関
陥韓館舘丸含岸巌 玩癌眼岩翫贋雁頑 顔願企伎危喜器基 奇嬉寄岐希幾忌揮
机旗既期棋棄機帰 毅気汽畿祈季稀紀 徽規記貴起軌輝飢 騎鬼亀偽儀妓宜戯

-5 -

技擬欺犠疑祇義蟻 誼議掬菊鞠吉吃喫 桔橘詰砧杵黍却客 脚虐逆丘久仇休及
吸宮弓急救朽求汲 泣灸球究窮笈級糾 給旧牛去居巨拒拠 挙渠虚許距鋸漁禦
魚亨享京供侠僑兇 競共凶協匡卿叫喬 境峡強彊怯恐恭挟 教橋況狂狭矯胸脅
興蕎郷鏡響饗驚仰 凝尭暁業局曲極玉 桐粁僅勤均巾錦斤 欣欽琴禁禽筋緊芹

-6 -

菌衿襟謹近金吟銀 九倶句区狗玖矩苦 躯駆駈駒具愚虞喰 空偶寓遇隅串櫛釧
屑屈掘窟沓靴轡窪 熊隈粂栗繰桑鍬勲 君薫訓群軍郡卦袈 祁係傾刑兄啓圭珪
型契形径恵慶慧憩 掲携敬景桂渓畦稽 系経継繋罫茎荊蛍 計詣警軽頚鶏芸迎
鯨劇戟撃激隙桁傑 欠決潔穴結血訣月 件倹倦健兼券剣喧 圏堅嫌建憲懸拳捲

-7 -

検権牽犬献研硯絹 県肩見謙賢軒遣鍵 険顕験鹸元原厳幻 弦減源玄現絃舷言
諺限乎個古呼固姑 孤己庫弧戸故枯湖 狐糊袴股胡菰虎誇 跨鈷雇顧鼓五互伍
午呉吾娯後御悟梧 檎瑚碁語誤護醐乞 鯉交佼侯候倖光公 功効勾厚口向后喉
坑垢好孔孝宏工巧 巷幸広庚康弘恒慌 抗拘控攻昂晃更杭 校梗構江洪浩港溝

-8 -

甲皇硬稿糠紅紘絞 綱耕考肯肱腔膏航 荒行衡講貢購郊酵 鉱砿鋼閤降項香高
鴻剛劫号合壕拷濠 豪轟麹克刻告国穀 酷鵠黒獄漉腰甑忽 惚骨狛込此頃今困
坤墾婚恨懇昏昆根 梱混痕紺艮魂些佐 叉唆嵯左差査沙瑳 砂詐鎖裟坐座挫債
催再最哉塞妻宰彩 才採栽歳済災采犀 砕砦祭斎細菜裁載 際剤在材罪財冴坂

-9 -

阪堺榊肴咲崎埼碕 鷺作削咋搾昨朔柵 窄策索錯桜鮭笹匙 冊刷察拶撮擦札殺
薩雑皐鯖捌錆鮫皿 晒三傘参山惨撒散 桟燦珊産算纂蚕讃 賛酸餐斬暫残仕仔
伺使刺司史嗣四士 始姉姿子屍市師志 思指支孜斯施旨枝 止死氏獅祉私糸紙
紫肢脂至視詞詩試 誌諮資賜雌飼歯事 似侍児字寺慈持時 次滋治爾璽痔磁示

-10 -

而耳自蒔辞汐鹿式 識鴫竺軸宍雫七叱 執失嫉室悉湿漆疾 質実蔀篠偲柴芝屡
蕊縞舎写射捨赦斜 煮社紗者謝車遮蛇 邪借勺尺杓灼爵酌 釈錫若寂弱惹主取
守手朱殊狩珠種腫 趣酒首儒受呪寿授 樹綬需囚収周宗就 州修愁拾洲秀秋終
繍習臭舟蒐衆襲讐 蹴輯週酋酬集醜什 住充十従戎柔汁渋 獣縦重銃叔夙宿淑

-11 -

祝縮粛塾熟出術述 俊峻春瞬竣舜駿准 循旬楯殉淳準潤盾 純巡遵醇順処初所
暑曙渚庶緒署書薯 藷諸助叙女序徐恕 鋤除傷償勝匠升召 哨商唱嘗奨妾娼宵
将小少尚庄床廠彰 承抄招掌捷昇昌昭 晶松梢樟樵沼消渉 湘焼焦照症省硝礁
祥称章笑粧紹肖菖 蒋蕉衝裳訟証詔詳 象賞醤鉦鍾鐘障鞘 上丈丞乗冗剰城場

-12 -

壌嬢常情擾条杖浄 状畳穣蒸譲醸錠嘱 埴飾拭植殖燭織職 色触食蝕辱尻伸信
侵唇娠寝審心慎振 新晋森榛浸深申疹 真神秦紳臣芯薪親 診身辛進針震人仁
刃塵壬尋甚尽腎訊 迅陣靭笥諏須酢図 厨逗吹垂帥推水炊 睡粋翠衰遂酔錐錘
随瑞髄崇嵩数枢趨 雛据杉椙菅頗雀裾 澄摺寸世瀬畝是凄 制勢姓征性成政整

-13 -

星晴棲栖正清牲生 盛精聖声製西誠誓 請逝醒青静斉税脆 隻席惜戚斥昔析石
積籍績脊責赤跡蹟 碩切拙接摂折設窃 節説雪絶舌蝉仙先 千占宣専尖川戦扇
撰栓栴泉浅洗染潜 煎煽旋穿箭線繊羨 腺舛船薦詮賎践選 遷銭銑閃鮮前善漸
然全禅繕膳糎噌塑 岨措曾曽楚狙疏疎 礎祖租粗素組蘇訴 阻遡鼠僧創双叢倉

-14 -

喪壮奏爽宋層匝惣 想捜掃挿掻操早曹 巣槍槽漕燥争痩相 窓糟総綜聡草荘葬
蒼藻装走送遭鎗霜 騒像増憎臓蔵贈造 促側則即息捉束測 足速俗属賊族続卒
袖其揃存孫尊損村 遜他多太汰詑唾堕 妥惰打柁舵楕陀駄 騨体堆対耐岱帯待
怠態戴替泰滞胎腿 苔袋貸退逮隊黛鯛 代台大第醍題鷹滝 瀧卓啄宅托択拓沢

-15 -

濯琢託鐸濁諾茸凧 蛸只叩但達辰奪脱 巽竪辿棚谷狸鱈樽 誰丹単嘆坦担探旦
歎淡湛炭短端箪綻 耽胆蛋誕鍛団壇弾 断暖檀段男談値知 地弛恥智池痴稚置
致蜘遅馳築畜竹筑 蓄逐秩窒茶嫡着中 仲宙忠抽昼柱注虫 衷註酎鋳駐樗瀦猪
苧著貯丁兆凋喋寵 帖帳庁弔張彫徴懲 挑暢朝潮牒町眺聴 脹腸蝶調諜超跳銚

-16 -

長頂鳥勅捗直朕沈 珍賃鎮陳津墜椎槌 追鎚痛通塚栂掴槻 佃漬柘辻蔦綴鍔椿
潰坪壷嬬紬爪吊釣 鶴亭低停偵剃貞呈 堤定帝底庭廷弟悌 抵挺提梯汀碇禎程
締艇訂諦蹄逓邸鄭 釘鼎泥摘擢敵滴的 笛適鏑溺哲徹撤轍 迭鉄典填天展店添
纏甜貼転顛点伝殿 澱田電兎吐堵塗妬 屠徒斗杜渡登菟賭 途都鍍砥砺努度土

-17 -

奴怒倒党冬凍刀唐 塔塘套宕島嶋悼投 搭東桃梼棟盗淘湯 涛灯燈当痘祷等答
筒糖統到董蕩藤討 謄豆踏逃透鐙陶頭 騰闘働動同堂導憧 撞洞瞳童胴萄道銅
峠鴇匿得徳涜特督 禿篤毒独読栃橡凸 突椴届鳶苫寅酉瀞 噸屯惇敦沌豚遁頓
呑曇鈍奈那内乍凪 薙謎灘捺鍋楢馴縄 畷南楠軟難汝二尼 弐迩匂賑肉虹廿日

-18 -

乳入如尿韮任妊忍 認濡禰祢寧葱猫熱 年念捻撚燃粘乃廼 之埜嚢悩濃納能脳
膿農覗蚤巴把播覇 杷波派琶破婆罵芭 馬俳廃拝排敗杯盃 牌背肺輩配倍培媒
梅楳煤狽買売賠陪 這蝿秤矧萩伯剥博 拍柏泊白箔粕舶薄 迫曝漠爆縛莫駁麦
函箱硲箸肇筈櫨幡 肌畑畠八鉢溌発醗 髪伐罰抜筏閥鳩噺 塙蛤隼伴判半反叛

-19 -

帆搬斑板氾汎版犯 班畔繁般藩販範釆 煩頒飯挽晩番盤磐 蕃蛮匪卑否妃庇彼
悲扉批披斐比泌疲 皮碑秘緋罷肥被誹 費避非飛樋簸備尾 微枇毘琵眉美鼻柊
稗匹疋髭彦膝菱肘 弼必畢筆逼桧姫媛 紐百謬俵彪標氷漂 瓢票表評豹廟描病
秒苗錨鋲蒜蛭鰭品 彬斌浜瀕貧賓頻敏 瓶不付埠夫婦富冨 布府怖扶敷斧普浮

-20 -

父符腐膚芙譜負賦 赴阜附侮撫武舞葡 蕪部封楓風葺蕗伏 副復幅服福腹複覆
淵弗払沸仏物鮒分 吻噴墳憤扮焚奮粉 糞紛雰文聞丙併兵 塀幣平弊柄並蔽閉
陛米頁僻壁癖碧別 瞥蔑箆偏変片篇編 辺返遍便勉娩弁鞭 保舗鋪圃捕歩甫補
輔穂募墓慕戊暮母 簿菩倣俸包呆報奉 宝峰峯崩庖抱捧放 方朋法泡烹砲縫胞

-21 -

芳萌蓬蜂褒訪豊邦 鋒飽鳳鵬乏亡傍剖 坊妨帽忘忙房暴望 某棒冒紡肪膨謀貌
貿鉾防吠頬北僕卜 墨撲朴牧睦穆釦勃 没殆堀幌奔本翻凡 盆摩磨魔麻埋妹昧
枚毎哩槙幕膜枕鮪 柾鱒桝亦俣又抹末 沫迄侭繭麿万慢満 漫蔓味未魅巳箕岬
密蜜湊蓑稔脈妙粍 民眠務夢無牟矛霧 鵡椋婿娘冥名命明 盟迷銘鳴姪牝滅免

-22 -

棉綿緬面麺摸模茂 妄孟毛猛盲網耗蒙 儲木黙目杢勿餅尤 戻籾貰問悶紋門匁
也冶夜爺耶野弥矢 厄役約薬訳躍靖柳 薮鑓愉愈油癒諭輸 唯佑優勇友宥幽悠
憂揖有柚湧涌猶猷 由祐裕誘遊邑郵雄 融夕予余与誉輿預 傭幼妖容庸揚揺擁
曜楊様洋溶熔用窯 羊耀葉蓉要謡踊遥 陽養慾抑欲沃浴翌 翼淀羅螺裸来莱頼

-23 -

雷洛絡落酪乱卵嵐 欄濫藍蘭覧利吏履 李梨理璃痢裏裡里 離陸律率立葎掠略
劉流溜琉留硫粒隆 竜龍侶慮旅虜了亮 僚両凌寮料梁涼猟 療瞭稜糧良諒遼量
陵領力緑倫厘林淋 燐琳臨輪隣鱗麟瑠 塁涙累類令伶例冷 励嶺怜玲礼苓鈴隷
零霊麗齢暦歴列劣 烈裂廉恋憐漣煉簾 練聯蓮連錬呂魯櫓 炉賂路露労婁廊弄

-24 -

朗楼榔浪漏牢狼篭 老聾蝋郎六麓禄肋 録論倭和話歪賄脇 惑枠鷲亙亘鰐詫藁
蕨椀湾碗腕

2.9 JIS 第二水準漢字（1095 文字）

-1 -

丕丼乖乘豫舒于亞 亟亢仄仗佛佗佇侈 侑來儘俟俎俚俤倚 倪伜俯倆偕做傀傲
傳僞僣價儉儷兀兒 兌兔兢冤冦凛几凰 刎刹剋剪剩剽劍劔 勁勳甸卍卷厖曼叺
吽吝呎呵咎呟呰呻 咄哄咤哮哺啀啜啖 喀喘單啼喩嗚嗅嗟 嗜嘔嗽噎嘴嘲噪嚆
嚴囂囃囮圀圈國圓 團圦圷址坏坩垈坡 垳垪垰埃埒埓埖埣 堝堡毀塒墹壞墻壘

-2 -

壜壯壺壽夥夭奎奘 奢奧奬奸妍娚婉娶 婢婪媚嬌孃孑孕孵 學寔實寢寥寶寳將
專對屁屏乢岫岻岼 峅岾峙峽崋崗嵜崔 崚嶬嶮嶽巖已帛帶 帷幟幇廂廏廣廩廳
弩彈彌彎弯彗彙彷 徂徊從徘徠忖忝怙 恪恆恍恣恃恤恬恙 悍惧悄悛悋惡悸惠
悴悽愕惺慇愨愾愼 愴慄慳慙慥慟憔憚 憊憑憫憮懊應懷懈 憺懼懺戍戔截戮戰

-3 -

戲扁扣扼抒抓拔拗 拿拜拂拇抛拉拮拱 拵捐挾搜捏掎掟捩 揆揣揉插揶搖搦攝
搗搏摯攪撓撥撼擂 擱擡抬攬擶擲攀擽 攣攫收效敍敲斂斃 斟旛旱昵昴晏晝晨
晟晰暉暘曉曖曰朧 霸朶杁杞杠杙杣杼 枌枡枅枷枳柤柞柝 柧檜栞栩梳栫桙桷
條梛梃檮梹桴梵梺 梍桾椦棡椌棧椒棗 椥棹棠棯椚椣楷楜 楔楮椹楴椰楡楪榮

-4 -

槐榿槁榧樮榑榜榴 樂樛樅樒樣橲橇橦 檄檢檗檻櫃櫟櫻欅 欒鬱盜歙歿殲毬毫
毯麾氓氣汞汪沁沐 泄泓沽泗沮泙泪衍 洸洵洒洌浣浚涎濤 涅渊涵涸淆淌淨渭
渙渾湫湶游滉滓溯 滔滕溥灌漿滲漱滯 滌澁潭澎澳澤澹濡 濕濱瀉濾瀦瀝瀾炙
炒炯炬炸烟烙焉焙 煥煕煬熏燻熨熹熾 燒燎燧燿爛爭爬爲 牘犹狢狡狹狷猜猴

-5 -

猯猩猥默獊獰獸獺 珈玻珀琥珸珐瑕瑁 瑣瑶璋璧瓏瓩甕甦 畉畭畸疇疊疵痒痙

瘁瘓痺瘍瘤瘻癇癈 癩癸皀皓皺盂盡盧 盪眈眄眩眞眸睨睫 睛睿睾瞑瞠瞞瞰瞼

矜矮矼砌砒礪碎硫 碆硼碌磑磋磊磧礒 磔祀祠祗祟祚祕祓 祿禧齋禪禮秬秡秣

稠稟禀稲穗穢穐穰 窕窩竈窟竇站竦竏 笏笙笄筍筌筵筥筧 筰筬箝箋箒箏箏箙

-6 -

篁篋篆篝篩簑簔篦 籠簣簇簗篶籃籔籐 籟籤籖粭粹粃糘糒 糜糯糺紆紘絆絎綺

綣緫綸緘緤緞緻縊 縣縱縋縢縷縺繩纈 纒纐纖纘缺罅罐罠 罨罧羞羲翔翡翳翹

飜耆耄耘耿聊聘聚 聟聰聽肆肛胄胚胱 脛脩腑腱腥膀膂膠 膣膵臍臘臟臺臾舂

舅與舐舩舸舳艀艙 艘艫艱芒苣苺苞苿 茱荀茹茫茗莅莚莪 莎莇莊荼莵莉莨菫

-7 -

菲萢萠莽萸葭蔻萬 葹蓚蔡蔗蓼蕁蘂薑 薊蕘薔藪蕾藏藝藥 蘊蘭蘆虔蛉蠣蚫蛛

蛯蜆蜀蜑蛹蜷蜻蜚 蝟蝮蠅螢螂螯蟇螟 蟠蟷衒衞衰衾衲袂 袢褎袱裔裝褄褪褻

褶襦覯覽覿觜訃訛 訝訥訶詈詭詢誅誂 誡誑誦誣諄諫諧諷 諛謗謠謳謫謨證譴

讒讚貪貶賤賣贄贅 贔贖赳趙趾跛跋跪 跬踞蹂蹉蹤蹠踪蹲 躁躊躑躬躰躾軋軻

-8 -

軾輛輳輻輾轄轉轆 轢轤辜辟辣辷迪邇 逡逍逞達遏邂遽邁 邊邉邏郛鄒鄙醉醂

釀釁釉釜釛釼釿鈑 鉗鉤鉈鉋鋏銹鋺錮 錚錺鍜鍼鎭鎗鐇鐵 鐵鐺鑄鑪鑽鑿閖閒

閏閔閣閾闊闔闖阡 阮陋陷陏隂隕險雉 雍雜雹霄霖靄靜勒 鞅鞁鞆韋頌頸頤頷

頹顆顯顰颪颯飄餉 餞餅饉饅饋饑饒馘 駛駝駘駮騙騫騷驀 驕驗髮髻鬘鬚鬮魄

-9 -

魏魬鮠鮨鮴鮹鯆鯏 鯵鯲鯱鯰鰕鰔鰡鰈 鰊鰄鰤鱸鳧鳰鴉鴈 鴦鴬鴫鵲鵝鵜鵯鵺

鶚鶏鶇鸚鸞麒麩靡 黎黴鼈鼓齊齧槙瑤 昇增寬崎德昻朗栞 栁横瀨神祥福綠緖

諸賴逸郞都髙黑

HCC におけるシステムパラメータの設定方法

1.　システムパラメータの種類

HCC で使用されるシステムパラメータには以下の種類があります。

パラメータ名	意味	初期値
Language	キャプションに使用する言語を指定します。 ja:日本語 en:英語（将来の予約用）	ja
PDFFileExt	PDF ファイルの拡張子を指定します。	.pdf
HCCFileExt	HCC ファイルの拡張子を指定します。	.hcc
DNTFileExt	DNT ファイルの拡張子を指定します。	.dnt
CSVFileExt	CSV ファイルの拡張子を指定します。	.csv
PenWidth	イメージウインドウに手書きデータを表示する際の線の太さをドット単位で指定します。	1.5
DividingDistance	手書きデータのページ分割の際に分割候補の判定基準として用いるストローク間の距離をミリ単位で指定します。 前のストロークよりも紙の左上方向に向かって離れていた場合、分割候補として表示されます。	50
DNTFileMaxCount	一度に読み込める DNT ファイルの上限を指定します。ここで指定された数までは読み込みます。	50
ShowPageButtonCount	ここで指定されたページ数以上になったとき、ページ移動ボタンを表示します。	10
A4MarginTop	Technote の A4 版を使って作成された DNT ファイルの補正値の垂直方向の初期値をミリ単位で指定します。	12
A4MarginLeft	Technote の A4 版を使って作成された DNT ファイルの補正値の水平方向の初期値をミリ単位で指定します。	5
A5MarginTop	Technote の A5 版を使って作成された DNT ファイルの補正値の垂直方向の初期値をミリ単位で指定します。	12

A5MarginLeft	Technote の A5 版を使って作成された DNT ファイルの補正値の水平方向の初期値をミリ単位で指定します。	5
ShowBeforeItemData	項目属性を設定する際、直前の値を再表示するかどうかを指定します。 True:直前の値を再表示します。 False:直前の値は再表示しません。	True
UnDefinedColorName	イメージウインドウで未定義の項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	ForestGreen
UnDefinedColorAlpha	イメージウインドウで未定義の項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	75
UnSelectedColorName	イメージウインドウで選択状態ではない項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	LightSkyBlue
UnSelectedColorAlpha	イメージウインドウで選択状態ではない項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	120
SelectedColorName	イメージウインドウで単一選択状態の項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	DarkOrange
SelectedColorAlpha	イメージウインドウで単一選択状態の項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	120
MultiSelectedColorName	イメージウインドウで複数選択状態の項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	Yellow
MultiSelectedColorAlpha	イメージウインドウで複数選択状態の項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	75
RecogLineColorName	イメージウインドウで文字認識項目のマス目の枠線を表示する際の色の名前を指定します。	Black
RecogLineColorAlpha	イメージウインドウで文字認識項目	75

	のマス目の枠線を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	
UseHCCSummary	「項目属性ファイルの概要」を使用するかしないかを指定します。 True:使用します。 False:使用しません。	True
UsePageSummary	「ページ概要」を使用するかしないかを指定します。 True:使用します。 False:使用しません。	True
SortTolerance	項目指定範囲によるソートの際に同一行とみなす高さのずれの範囲をミリ単位で指定します。	5
TimestampCaption	変換日時の見出し名を指定します。	変換日時
DNTFileCaption	保存先情報の見出し名を指定します。	手書きデータ保存先

(ア) Language について

HCC では画面に表示するキャプションなどの文言は全てデータベース化しており、Language によって言語を切り替えることが出来るようになっています。

ただし、現在のところ文言データベースには日本語の文言だけしか用意されておりません。

将来のバージョンで対応する言語が増えた場合（例えばフランス語）、Language=fn とするだけで、HCC をフランス語表示に切り替えることが出来るようになります。

(イ) 色の名前について

記述することが出来る色の名前（Yellow や Cyan など）は、

http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/aa358802.aspx

を参照してください。

2. **レジストリ**

システムパラメータはレジストリの「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HCC2」に書き込まれます。このレジストリは HCC がインストールされた時点では作成されていませんが、HCC の最初の起動時に作成されます。

また、HCC をアンインストールした後もレジストリの内容は削除されずに残っています。